

会長のページ 幸福度	河野 雅行	3
日州医談 宮崎県医師会「医師会組織強化・将来構想委員会」 設置と活動報告（10か月）	大塚康二郎	4
随 筆 贅沢な時間	山口 和正	6
広がる代行サービス	谷口 二郎	8
日本一の石段と二股橋	石橋 俊秀	10
エコー・リレー（598）	西浦勇一郎, 岡本 剛	15
メディアの目 移住者の課題は雇用, 教育	満野龍太郎	16
身近なお困りごと相談室	高山 桂	17
私の本 二つの道 医学と文学で	大西 雄二	18
宮崎大学医学部だより 感覚運動医学講座 ー耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野ー	中村 雄	26
専門分科医会だより 泌尿器科医会	福田聡一郎	27
診療メモ 骨粗鬆症	船元 太郎	60
宮崎県脳卒中・心臓病等総合支援センター事業	田村 充, 大田 元	62
宮大医学部学生のページ 令和7年度新歓委員会からのご報告	阿波根直杜	64

叙勲・祝賀	12
あなたできますか？（令和5年度医師国家試験問題より）	14
宮崎県感染症発生動向	20
各郡市医師会だより	24
日医インターネットニュースから	28
医師国保組合だより	30
会員の異動・変更報告	32
理 事 会 日 誌	36
県 医 の 動 き	42
ドクターバンク情報	43
行 事 予 定	49
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	51
ベストセラー	59
あ と が き	72

お知らせ 地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について	11
「はまゆう随筆」原稿募集	13
第22回宮崎大学医学部音楽祭	19
医師年金ご加入のすすめ	23
令和7年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生就職のお願い	41
日州医事へのご意見・ご感想	47
郡市医師会への送付文書	66
医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください！	69
医療勤務環境改善支援センター	70
日州医事原稿募集のお知らせ	71

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：日本画〕

飢肥城大手門

どっしりとした大きな門，苔むした石垣。
何百年もの月日が流れても同じ場所に立ち，
変わりゆく周囲をどう受け止めているのかと思
います。

宮崎市 おおにしあつこ (会員家族)
大 西 敦 子

会長のページ

幸福度

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

さまざまな統計が多くの機関から発表されています。興味を引いた統計で、「幸福度」なるものがありました。それによれば、昨年の宮崎県は全国都道府県で3位でした。1位は連続して沖縄県、2位は大分県でした。評価の根拠となる因子は7項目です。「健康」「家族・家庭」「友人・知人」「恋愛」「収入・財産」「仕事・学業」「趣味・娯楽」を数値化しています。以前は収入や裕福さが幸福の重要指標でしたが、昨今は自然やよい環境が求められているようです。時代の求めるものが違ってきているのでしょうか。世界では意外なことにブータンが幸福な国と言われている

ています。今回の評価は少し異な感じかもしれませんが、単純に好意的に受け止めて喜ばしく思います。

宮崎県は、農産物、海産物、森林資源が豊富で、自然や気候に恵まれています。さらに、全国一に評価されたものが数多くあります。宮崎牛、ふるさと納税、日照時間、焼酎出荷量、餃子の一人当たり消費量等々、分野ごとに検索すればまだまだあります。しかし、以前に比べて劇的な変化があったわけではありません。若者の都会志向は変わりませんし、人口減少は続いており、地域医療も厳しい状態です。それでも以前に比べて徐々にではあっても生活の利便性は向上していますし、欠点としていわれる知名度が低いこと、アクセスが悪いことも、視点を変えればそれが自然を守るなどと利点にもつながります。同じ事柄でも見方によっては欠点と長所は紙一重です。古くは県内市町村が押しなべて都会化を目指した時代もありました。今では地方のよさ・魅力を再認識し、それを生かそうとしています。県でも幸福度の向上に力を入れているようです。

データは因子や読み方によって評価が違ってきます。注意すべきは、結果を見据えた恣意的なデータの採り方です。「幸福度」は漠然としており、個人によっても基準が異なりますし、時期や立場、年齢によっても違って来るものと思われます。上記の因子のみではとても表現しきれません。「愛が全て」という歌もあります。神社仏閣の絵馬には「健康」「家内安全」「合格祈願」などが多く、TVドラマでは「家庭の団欒」が幸福の象徴として取り上げられています。古の求道者は「道を究める」のが幸せであり、その他「飲・食・寝」「スポーツ・芸術」「信仰」「出世」「日々平穩」等々因子は無数に考えられ、それらの因子を加味すれば評価は違ったものになるでしょう。医療人としては「医療・福祉の充実」も挙げたいところです。

皆様にとりまして幸福度を評価する基準は何で、その満足度はいかがでしょうか。重ねて宮崎の住み心地はいかがでしょう。

(令和7年5月15日)

日州医談



宮崎県医師会「医師会組織強化・将来構想委員会」設置と活動報告(10か月)

宮崎県医師会 常任理事 おお つか こうじろう
大 塚 康二朗

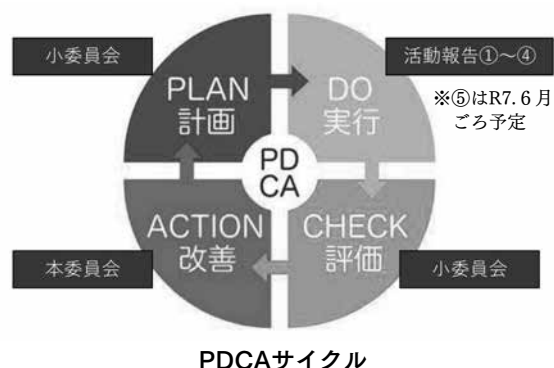
委員会設立の経緯

R4.6月 日本医師会松本会長は所信表明にて、「医師会の組織力強化は喫緊の課題であり最重要事項の一つであると認識している」と述べられた。昨今の医療を取り巻く環境の変化に対応していくために、政財界との連携、行政との協議や折衝の充実、対外的な存在意義を高めることが重要だからである。しかし実際は将来の医療界を担う若手医師が、さまざまな事情から医師会に近い存在ではないという現状がある。そのため若手医師に対して医師会活動の理解を深めるため、医師を志したときや医学生るとき、そして働き始めた後も医師会業務の啓発活動や参加型の活動と呼びかける必要がある。日本医師会の組織力強化の具体的な取組みとして、R5.4月より医学部卒業5年間の会費減免期間を設け会費無料の施策が実施されている。そして全国の医師会に向けて、6年目以降継続して医師会活動をしてもらえるよう組織力強化の協力を求められたことに対し、R6.7月河野会長の指示のもと、宮崎県医師会において「組織強化・将来構想委員会」が設置された。

小委員会設置と活動方法

本委員会は、宮崎県医師会河野会長以下全理事23人で構成される。R6.7月小牧・金丸副会長と50歳前後の理事6名、計8名にて「小委員会」が設置された。R6.7月から1回/月の小委員会を開催し(R7.4月まで8回開催)、会員・非会員問わずあらためて「医師会の役割を理解してもらうためにどのような広報活動・対策をすべきか？」と議論を重ねてきた。そして

議論した内容の実効性や有用性を精査し、全理事対象の「本委員会」で報告し意見を求めた(R7.4月まで2回開催)。そして本委員会の中で指摘のあった課題を修正し、計画を実行、再び小委員会で結果について議論するというPDCAサイクルのフレームワークで実施した。



宮崎県の現状は？

宮崎県内の医師数はおおむね3,000人、R6.12月現在宮崎県医師会会員1,932人、医師会加入率は63.9%と全国7位である。そのうち勤務医の割合が最も多く1,171人(5年間会費無料効果で増加傾向)と7割を占める。郡市医師会では小規模な医師会ほど入会率は高い傾向にある。多くの未入会医師は、開業するタイミングまで医師会の正確な情報・メリットはほとんど伝わらず、医師会批判をするSNSやコメンテーター情報に左右されやすい。

現在行われている対策と課題

- ① 初期研修医に対しては、4月に行われるAll Miyazaki研修医スタートアップセミナーに

て説明会を開催し、5年間会費無料効果もあり95%以上入会している。しかし6年目以降は会費が発生するため十分な理解を持って継続してもらう必要がある。そのため最初の5年間で医師会の魅力・必要性を伝えていくことが医師会執行部の責務である。

- ② 未入会の中堅医師へのアプローチは困難さがある。医師歴が長くなると個別に必要なメリットが変わってくるため、それぞれの要求に対し、臨機応変に対応する必要がある。そのためには広報する側が医師会の業務に精通し、医師会の役割を丁寧に説明できなければ信用を得られない。「医師が医師会を持つこと、医師会に入ることのメリット」をあらためて医師会会員に周知する必要がある。

執行した事業・継続中の事業

活動記録① 郡市医師会と県医師会の交流

郡市・県・日本医師会は三層構造であり、十分な情報共有をすることが重要である。そのため河野会長・県医師会担当理事が、下記郡市医師会の理事会に参加させていただいた。時間をいただき組織力強化の必要性の説明を行った。まだ未実施の郡市医師会にはこれからご連絡させていただく予定である。

【2/5 宮崎市郡医師会 2/10延岡市医師会 3/12都城市北諸県郡医師会】

活動記録② 宮崎大学病院・医学部教授へのアプローチ

2/19宮崎大学病院運営委員会（※病院長、教授など30人近く参加される会議）に医師会の説明会の場を設けていただいた。現在のさまざまな要因による病院経営の困難さ、診療報酬問題、医政の重要性など、大学の先生方の協力が必要不可欠であることを訴え、医師会に対する理解、入会をお願いした。まだ最終人数は確定していないが、半数近い先生に入会の可能性を示唆いただいた。

活動記録③ 医師協同組合パンフレット改訂

県医師会の入会のメリットである医師協同組合の事業であるが、若手医師が対応しやすいようにQRコードからホームページに入れるように改訂した。これにより説明側も細かい数字まで覚えていなくても説明しやすくなった。

活動記録④ R7.4/19日本医師会未来ビジョン 若手医師の挑戦（Web会議）出席

3名の初期研修医の先生に参加いただき、理事3人とWeb会議前後1時間以上にわたり交流会を行った。医師会とは何か・何があったら嬉しいか？というテーマで話をすることで、若い先生の疑問や、医師会に求めるものが分かった。医師会継続いただくために、改善すべき点のアドバイスをいただいた。

活動記録⑤ ※斬新なアンケート作成（6月ごろ実施予定）

医師会や医療に対するアンケートは種々存在するが、同じようなものが多いのではないかと意見が出ていた。そのため今回は、若手医師が今後の医療体制に対し危機感を感じてもらえる内容の質問を数か月かけて議論し作成した。R7.6月ごろ、宮崎大学医学部学生や関係機関に配布させていただき、アンケート結果の統計を取った後に対策を講じていきたい。

今後の展望

先人の先生方が医療の危機の際に必死に医師会活動を行っていただき、今日の国民皆保険制度に至っている。現在の医療情勢を鑑みると、今に生きる我々が必死に対策を講じなければ、多くの医療従事者が苦しい状況に陥ると思われる。その打開策の組織力強化として、組織強化・将来構想委員会では医師会入会・説明会に関しさまざまな計画を立案中である。「国民の生命と健康を守るため、医師の医療活動を守るため」、医師会の組織活動があることを、一人でも多くの医師に理解し一緒に活動いただけるような情報提供を行っていきたい。

随 筆

贅沢な時間

日南市 愛泉会日南病院 ^{やま}山 ^{ぐち}口 ^{かず}和 ^{まさ}正

終活のお年頃である。死後に見られてまずそうなものは今のうちに処分しとかなければならない。さすがにもうエロ本はないが、日記や手紙の類も他人に見せて自慢できるようなものもなく、残しておきたいようなエピソードも大して思い浮かばない。しかし処分する前にと、断片的に綴られた日記などを読み返していたら、記憶の片隅に沈んでいた出来事が少々蘇ってきた。

50年以上前の話になる。大学時代の夏休み、アルバイトに東京まで出て、ひと夏飯場で働いた。桜島の灰が降る中、クーラーもない下宿部屋で窓を閉め切ったの夏休みもしんどい。東京も見なかったし、三食&宿付きで滞在中あまり金を使わなくても済むだろうと考えてのことである。理屈をつけるなら、医療従事者にとってためにならない経験はない、学生時代は、医者になってからでは見ることのできない世界を見ておける貴重な時間であるというところか。岡林信康の「山谷ブルース」が流行っていた影響もあったか。

どこでどう探して転がり込んだかは定かではないが、首尾よく飯場で1か月間仕事にありついた。飯場の大将は筋骨たくましい在日朝鮮のおっさんで、仕事の手配を兼ねていた。同じ1か月間のアルバイトの大学生が他にも数人いた。おっさんは「お〜若くて活きのいいのが結構いるな、そのうち夜に女でも投げ込んでやるからな」と威勢がよかったが、口先だけだった(ちょっと期待したのに…)。飯はいくら食べてもいいぞというのは本当だったが、2杯目からのおかずはキムチだけだった。仕事はNTTの配線用の土管の埋め込み作業で、大筋はショベルカー(Yunpo) がやるが、細かいところは手掘りである。スコップで掘ったり土管を並べていくのが主な仕事だった。肉体労働だが、高

校時代の柔道部の夏の合宿と比べれば大してきついものでもない。合宿はまだ伝統的なしごきと根性論の世界だった。昼間徹底的にしごかれ、夜飯を食おうにもレモンをまるかじりしても唾液が出ず、にぎり飯をやかんの水で流し込んでなんとか凌ぐようなありさまだった。それに比べれば、飯場の肉体労働は金もらって筋トレしているようなもので、さぼるほどのものでもない。いそいそと働いた。スコップの使い方にもすぐ慣れ、「なかなか筋がよいな。お前は人間 Yunpo だな」とうれしいあだ名も頂戴した(まあ、調子よくおだてられて働かされていたようなものだが)。そうはいっても最初の数日で4〜5kg体重が落ちた。主に水が合わないというか、下痢と、好きなだけ食べてよいといわれてもおかずがキムチだけでそのせいだったが、次の1週間くらいで元に戻った。柔道部でしごかれた肉体が役立った。仕事現場は体育大学の近くだった。土壕の中でスコップをふるっていると、時々女子大生の一群が短パン姿で穴の近くを走って行く。そんなときは作業の手を休め、みんなで魅入っていた。穴の中から見上げる揺れる胸元、短パンからすらりと伸びた太腿や下腿三頭筋の滑らかなレリーフがまぶしかった。時々交代で交通整理の仕事もあった。慣れない旗振りで「なにやっとなんじゃ〜、ぶつかるじゃね〜か〜!」と怒鳴られることもあったが、「おう兄ちゃん、がんばってるね」と声をかけてくれるやさしいトラックの運転手もいた。鉄骨を組んで、それをハッカーという道具でワイヤー締結し固定する仕事もあったが、のちに整形外科に入局して手術のとき、そっくりの道具が出てきた。医療用としては高価なものだが、機能的には同じものが、DIY店で買えば10分の1以下の値段だった。他にもホルダー付

きのねじ回しなど、入局後新製品として出てきた手術道具で、そのときすでに工事現場では使われていたものもあった。

一緒に働いていたバイトの大学生ともすぐ友達になった。学生運動崩れみたいな鬱屈した感じの輩もいたが、一人は当時日本のチベットと言われた（そう本人が言っていた）岩手の出身で、宮沢賢治の熱心な読者だった。初めて生で聞く東北弁がワクワクもので新鮮だった。かねてから議論になっていた「永訣の朝」の「あめゆじゅとてちてけんじゃ」が丁寧語なのか「雨雪を取ってきて、賢治兄さん」という意味なのか聞いてみたが、東北弁ネイティブの彼からも明確な返答はなかった。最近NHKが後者の意味で番組を放送したのを見て、『ほう結論が出たのかな』と思ったら、後でクレームが殺到したらしい。今でも決着がついていない永遠の謎のようだ。別れた後もしばらく文通を続けていたが（ケータイなどないころである）、そのうち自然と沙汰止みになった。また一人は東京の私立大学の学生で山梨に実家があった。「盆休みは飯場も閉まって行くところがないだろう、俺んとこに泊まりに来い」と実家に泊まらせてくれた。ぶっきらぼうだが親切な男だった。実家の人も優しく飯もたらふく食べさせてくれた。盆明けにはキムチ飯にも慣れ、肉体的にはなんの問題もなくなった。夕食が終わって大学生同士ががやがやと仲良くしているとき、一人中卒が高卒と思いき若者がいて、話の輪に加わるでもなく部屋の隅にいて少し寂し気なまなざしで皆の話を聞いていた。彼はユニボの運転手で、我々よりはるかに稼ぎはよいはずだが、本当は自分も大学に行きたかったのかもしれない。澄んだ瞳の無口な男で黙々とユニボを操っていた。ユニボで掘れるところは丁寧な土をすくい上げてくれて、我々スコップ部隊の仕事を楽にしてくれた。ヤクザあがりみたいな初老のおっさんもいた。いろいろヤクザ同士の出入りの武勇伝や女の自慢話をしていたが、あるとき、「おう、若え～の、お前ら入れ墨するんじゃねえぞ、孫と一緒に風呂入れねえからなあ」と、ちょっと真顔でつぶやいた。それが勇ましい話をしていたヤクザのおっさんの最終結論か～!?と思ったが、この年で飯場暮しも望むところではなく、本当は孫と一緒にゆったりと過ごしたいんだろうなと思うと親近感がわいた。入局後、大学外来ですごんでいるヤクザっぽい外来患者がいて皆ビビっていたが、このときの記憶もあり、『虚勢張っていても、所詮は

孫と楽しく風呂に入りたい普通のおっさんだよな』という思いで、ホイホイと近づいてクレーム対応していたら、後で柔道部出身の先輩ドクターから「お前、あんな男とよく普通に話せるな!？」と自分のほうがビビられた。危機管理の観点からは今ではご法度の危険な対応だが、飯場の連中でやばい感じの男はおらず、総じて皆優しいかった。

帰りはせっかくの稼ぎを旅費で減らすのももったいないと、東京から関西までは一晩かけて普通列車で帰った。当時東海道線を走る唯一の長距離夜行普通列車で、学生連中からは「貧者のための人民列車」と呼ばれていた。先日ラジオで、それが一般には大垣列車というニックネームで呼ばれていたことを知った。発車の何時間も前から乗客が列をなし、ぎゅうぎゅう詰めの人気だったらしい。込み具合は覚えていないが、さすがにゆっくりできた記憶はない。ヨーロッパの国際長距離列車に乗ったときは（このときはユーレイルパスという列車乗り放題の格安チケットがあった）コンパートメント式で4～6人座れる座席の一部屋に友人と2人きりだった。座席を枠から外して床に敷き、その上にゆったり寝ることができた。終着駅の列車内で一晩過ごし宿代を浮かせたが、バックパッカーなど貧乏学生には慣れたものだろう、本当はダメなのだろうがヨーロッパの駅員も追いついてたりもせず無視してくれた。

稼いだ金でかねてから欲しかったステレオコンポと電気コンロを買った。テレビはなくとも音楽!の時代である。ぼちぼちとビートルズやフォークやジャズ、クラシックのレコードを買いためていった。我が貧乏学生連中の中ではかなりの贅沢者である。電気コンロー一つ持っていれば物持ちだった我らの仲間、友達がインスタントラーメンの袋1つ持って、「食わせろ」と電気コンロを使いに来たりした。缶詰を開けて電気コンロの上でぐつぐつ煮ながら皆で芋焼酎を飲み交わし、それでバツハを語るのもオツなものだ。

結構思い出の品ではあったが、それらは大学を卒業するとき、後輩にみんな譲ってきた。所詮は安物で、荷造りして持って回るほどのものでもない。医者になって稼いだ金でよいものを買おうというのが自分で稼ぐことのステータスでもあった。しかし、値段の張るものを買っても、今度はゆっくり音楽でも聴こうという時間の心の余裕、気力が湧いてこない。学生時代はやはり贅沢な時間だったと今さらながら思う。

随 筆

広がる代行サービス

宮崎市 ^{たに}谷 ^{ぐち}口 ^じ二 ^{ろう}郎

数年前、目の前の3階建てのアパートの前に赤色灯を回したパトカー、救急車、消防車などが停まっていた。その周りに数人の警官と救急隊員がその建物を取り囲んでいる。何か事件か？もしかして殺人事件でも起こったのかと見ていると、その3階のベランダに長いハシゴをかけ隊員が登っていった。すると突然ハンマーみたいなものでガラス窓をたたき割った。その後何人かの人が中に入ってしまった。

何事が起こったのか周りの人に尋ねてみると、近所の人が異臭がするのでもしかしたら何かあるのではないかと警察に連絡したのだという。しばらくするとタンカに乗せられた布に包まれたものが降ろされた。後で聞いたらそこに住んでいた住人の遺体だった。話によると男性の高齢者で最近見かけなかったという。いわゆる孤立死と呼ばれるケースである。

2024年に一人暮らしで自宅で亡くなった人は7万6,020人。65歳以上の高齢者が5万8,044人で8割近くを占めた。その中の4割近くが当日か翌日に発見され、7割超は1週間以内に見つかっていた。

内閣府の作業部会が「孤立死」として位置付けた死後8日目以降に発見されたケースは2万1,856人。そのうち1か月以上は6,945人、1年以上して見つかったケースは253人で孤立死する8割が男性だという。

孤立死を年代別で多い順に見ると65～69歳 3,102人、70～74歳 4,277人、75歳～79歳 4,044

人、80～84歳 2,502人。私が想像していた数よりもかなり多い数で驚いた。

さて先日新聞を開くと「お墓参りサポートタクシー」という文字が飛び込んできた。一体何だろうとよく見てみると、どうやら先祖のお墓が遠い所にある人がお参りに行けないので、代わりにお墓参りをしてくれるサービスらしい。その内容は①合掌 ②清掃（水鉢、花立て、線香台）③お線香のお供え ④写真撮影（事前、事後）⑤報告書提出。料金はタクシーの会社から霊園・墓地までの片道運賃+5,000円。オプションとして造花お供え+1,000円とある。場所にもよるかもしれないが、1万円でお釣りがくるくらいの値段の設定である。まあわざわざ行くことを考えるとリーズナブルな値段だろう。もし墓じまいして移すと数百万円はかかるだろうから、手軽であることは間違いない。

また他の日の新聞の広告には「60歳以上の方必見」という見出しで次のように書いてあった。

『近年、急な手術や入院、更には高齢者施設への入所の際に、病院・施設側から断られる方が増えていることをあなたはご存じでしょうか？

その理由は「身元保証人」を用意できないから。事実、あるアンケートでは9割もの病院や施設が、「入院・入所の際に、身元保証人を求める」と回答しています。

しかしながら、様々な理由で身元保証人を

用意できない人が増えています。例えば「配偶者に先立たれて身寄りがない」「子供が遠くに住んでいて、何かあってもすぐに駆け付けられない」「大切な家族だからこそ、面倒をかけたくない」などです。

このような理由から、いざとなった時に身元保証人の用意が間に合わず、苦勞される方が多くいらっしゃいます。

こうした事態に備えて、身元保証人の用意など、元気なうちから終活を行って老後に備えておくことは非常に大切です。

けれども、何から始めたらよいか、どのように進めたらよいか、分からない方も多いと思います。「自分にはまだ早い」「何から始めたらよいかわからない」「大事だとわかってはいるが、面倒くさくて手を付けられていない」このように思う方は多いのではないのでしょうか？

しかし、早いうちから準備しておかないと、大変な状況になることも。実際に、準備をしておくことが大切です。

そのために当社では ①保険（専門家が設計します）②通院（手続きから付き添いもします）③介護（ご案内や見学同行をします）④入院（身元保証人を承ります）⑤葬儀（ご案内から手配もします）⑥お墓（ご納骨も承ります）⑦相続（公正証書も作成します）。現在2万名の会員がサービスを利用しています。全国に支部を配置。各専門家が登録されています。

つまり当社で身元保証人、終活に関するあらゆるお困りごとに対して、トータルサポートが可能です。日常生活のサポートから、ご逝去後の行政手続き、遺言の執行、納骨代行、遺品整理など、さまざまな手続きも一つの窓口でご相談いただけるわけです。一度当社にご連絡いただき、そのモヤモヤをスッキリさせて、素敵な人生を過ごしませんか。』

なるほどすべての終活を代行してくれるなら、これほど便利なものはない。そう思ってし

まう。でも本当に安心なのだろうか。依頼するにはやはりお金が必要だ。まず入会金が10万円ぐらい、年会費が1～2万円かかる。その他に預託金というものが要る。それは分かりやすくいうと、自分の預金を預けるということになる。その金額は数百万円にもなる。それぞれ必要なときに引き出される。もし不足が起これば、また残りの預金を預けるということになる。そのお金が全部なくなったところで終了となるので、ある程度の預金が必要になる。

しかし、預託している会社が不正にお金を使い込んだりするかもしれない。あるいは不要なことに使われるかもしれない。特に亡くなった後は身の回りに誰もいなければ、残ったお金はうやむやになって私用に使われる可能性がある。そのため、各市町村がそうした会社を認証する制度を整備しなければならない。それには弁護士や司法書士などが介在することも必要だろう。また、使われたお金の明細などが定期的に送付されることもなくてはならない。すべてに目を光らせる責任者の存在が絶対必要である。そして委託される人とのコミュニケーションも必要である。

それには ①サービスの内容、費用などを説明し、お互いに書類を交換すること ②預けたお金が預けた会社の資金とは別に管理されること ③定期的に使われた項目と使われ先を報告すること ④いつでも契約解除ができること ⑤依頼者の考えに沿った会社であることなどが要る。

単身独身者は年々増加方向にある。65歳以上の単身世帯は2020年には738万世帯だが、2050年には1,084万世帯と推定されている。つまり、30年間で5割も増えるのである。だからますますこのような代行サービスが増えていくに違いない。お一人様問題は他人ごとではない。明日は我が身の問題かもしれないのだ。ましてや当の本人の私が孤立死するかもしれないのだ。だから決して他人事とは思えない。

随 筆

日本一の石段と二股橋

延岡市 井上病院 いし ばし とし ひで
石 橋 俊 秀

熊本県美里町は石橋で有名だ。今回は「日本一の石段」とハートの影を映し出す“恋人の聖地”「二股橋」を観光した。

日本一の石段（釈迦院御坂遊歩道）

釈迦院は1,200年の歴史がある天台宗の名刹で、西の高野山と呼ばれている。昭和53年から10年かけて昭和63年3月に日本一の石段3,333段が完成したそうだ。

最初は意気揚々と登り始めた。最初の100段目あたりに牛を祀ったお宮があり、御神籤が販売されていた。その後も100段ごとに道標があり、途中に「先は長い…」「ちょっと休まんね？」という幟が掲げられていた。もう少し頑張ろうと励まされた。

また、階段の途中に石段駆け登り競争の歴代の優勝者の石碑があった。男性では26分台、女性では35分台の人もいた。途中で4歳の女の子が元気に歩いているのに感心させられた。また、70歳くらいの夫婦は毎週登っていると話された。

石段の最後の方に御影石の提供者の石碑があった。岩手県青み御影石、大島産、愛媛県産、遠くはソ連産、ブラジル産、アメリカ産や南アフリカ産の物もあった。段々と足が上がりなくなり、登りに約90分もかかってしまった。登り切ると、「白龍が昇るが如し石段は三三三三で日本一」と書かれた石碑が置いてあり、達成感が得られた（写真1）。

下りの最後の100段あたりで、足が萎えて座り込みしばらく動けなくて1時間かかった。



写真1 日本一の石段

ふたまたばし
二股橋

津留川と釈迦院川の合流点に双子のようによく似た橋が直角に架けられている。10月～2月の11:00～14:00ごろにかけて、ハート型の影を映し出す（写真2）。



写真2 二股橋のハート型の陰影

八角トンネル

熊延鉄道は熊本駅から延岡駅まで鉄道をつなぐ壮大な計画があり、熊本駅から美里町の砥用駅までつなげられ貨物や人を運んでいた。昭和

39年に廃線になった。その廃線跡が一部残されていて、便宜的に「八角トンネル」と呼ばれている。実際には、両脇の岩盤を支えるために八角形をしたコンクリートのブロックで、7つが連続していて、幻想的な雰囲気だった（写真3）。



写真3 八角トンネル

道の駅 美里^{さまた}佐保の湯

物産館には、地元の農産物がたくさん並んでいた。シイタケのスープとオコシを土産に購入した。佐保の湯にはジャグジー、サウナと露天風呂があった。お湯はトロリとした感じで心地よくて、石段登りで疲れた体を癒やしてくれた。

おおくぼし 大窪橋

美里町指定の文化財。嘉永2年（1849年）に架橋された全長21m、高さ6.5mの単一アーチ橋だ。橋の袂^{たもと}には「車通すべからず」と書かれた石碑があった。

れいだいきょう 霊台橋

緑川本流の最大の難所 船津溪谷をまたぐ石橋で、全長90m、高さ16mの単一アーチ橋としては日本一の規模を誇っていた（写真4）。昭和41年に鉄橋が架けられるまではバスやトラックが走り、物資や文化を渡していた。



写真4 霊台橋

お知らせ

地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について

宮崎県医師会では、地球温暖化防止に向けて、**5月1日から10月31日**までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装（クールビズ）の実践に取り組みます。

会議などの場合でも軽装（ノーネクタイ・半袖など）で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

叙勲・祝賀

旭日双光章

やま むら よし のり
山 村 善 教 先生（宮 崎）

令和7年春の叙勲において、保健衛生功労により旭日双光章を受賞されました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



瑞宝双光章

こ いけ ゆう いち
小 池 祐 一 先生（延 岡）

令和7年春の叙勲において、学校保健功労により瑞宝双光章を受賞されました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



「はまゆう随筆」原稿募集

夏の恒例となりました7, 8月号の「はまゆう随筆」を募集いたしますので奮ってご投稿をお願いいたします。毎年皆様に大変ご好評いただいております。

題 材 診療閑話, 私の趣味, 旅行記, スポーツ談義, 詩, 短歌, 俳句など何でも結構です。なお, 本文に関連した写真・イラストなども掲載できます。

字 数 800字程度 (字数が多い場合は「はまゆう随筆」として掲載できないことがありますのでご了承ください)

締 切 令和7年6月20日(金)

- ◎ 原稿に「はまゆう随筆」である旨とタイトル, 氏名を先頭に付記してください。
- ◎ 掲載については, 広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載はおひとり1編とさせていただきます。
- ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載, または投稿中の場合はその旨お知らせください。
- ◎ 原則として, 原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
- ◎ 日州医事は, 会員以外(マスコミ・行政・図書館など)にも配布しています。

留意事項

以下に該当する原稿は掲載できません。

- ◎ 著作権をはじめ, 法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ◎ 誹謗中傷や差別など, 他の団体, 個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ◎ 布教や政治活動など, 特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ◎ 公序良俗に反し, 法律で禁止されている行為など, その他不適切と判断されるもの
- ◎ 事実誤認, 難解, 過度な宣伝広告など

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し, 日州医事原稿専用アドレス(genko@miyazaki.med.or.jp)宛にお送りください。もちろん, それ以外の方法(FAX, 郵便など)でお送りいただいても構いません。

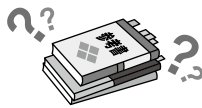
原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 はまゆう随筆係

E-mail: genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118



あなたできますか？

ー令和5年度 医師国家試験問題よりー

(解答は35ページ)

1. 後天性の感音難聴を引き起こすウイルスはどれか。
 - a アデノウイルス
 - b Epstein-Barr〈EB〉ウイルス
 - c 単純ヘルペスウイルス
 - d 風疹ウイルス
 - e ムンプスウイルス
2. 25歳の女性(2妊0産)。初経は12歳。4日前から下腹部痛を自覚したため産科診療所を受診した。月経周期は28日型、整、順。最終月経は10日前から5日間。最近2年間に2回人工妊娠中絶手術を受けた。身長160cm、体重53kg。体温37.9℃。脈拍100/分、整。血圧116/62mmHg。呼吸数20/分。腹部は平坦で、下腹部に反跳痛を認める。内診で子宮は正常大で圧痛を認める。付属器は痛みのため触知できない。陰鏡診で外子宮口に黄色膿性分泌物を認める。血液所見：赤血球320万、Hb10.3g/dL、Ht30%、白血球18,300(桿状核好中球60%、分葉核好中球26%、好酸球0%、好塩基球1%、リンパ球13%)、血小板41万。CRP16mg/dL。妊娠反応検査陰性。経膈超音波検査で左卵管のソーセージ様腫大を認め、同部が痛みの最強点となっている。

まず投与すべきなのはどれか。

 - a 抗菌薬
 - b 整腸薬
 - c 抗ウイルス薬
 - d GnRHアゴニスト
 - e グルココルチコイド
3. 7か月の男児。頭部を前屈する動作を心配した両親に連れられて来院した。在胎40週、体重3,020gで仮死なく出生した。追視・固視を1か月、あやし笑いを2か月、定頸を3か月で認めた。2週間前から両上肢を伸展挙上し、頭部を前屈する動作が出現した。約10秒間隔で10回以上反復し、次第に毎日みられるようになった。同時期からあやし笑いが乏しくなり、寝返りと坐位保持ができなくなった。

可能性が高いのはどれか。

 - a West症候群
 - b 欠伸てんかん
 - c Lennox-Gastaut症候群
 - d 先天性筋強直性ジストロフィー
 - e 福山型先天性筋ジストロフィー
4. 体液量に占める細胞外液量の割合が最も高いのはどれか。
 - a 新生児
 - b 乳児
 - c 幼児
 - d 学童
 - e 成人
5. 健康増進法で規定されていないのはどれか。
 - a 健康日本21
 - b 受動喫煙防止
 - c 食事摂取基準
 - d 定期予防接種
 - e 国民健康・栄養調査
6. 高齢者機能評価簡易版〈CGA7〉の項目に含まれないのはどれか。
 - a 意欲
 - b 経済状況
 - c 認知機能
 - d 基本的ADL
 - e 手段的ADL
7. 摂取カロリーが約80kcalなのはどれか。
 - a 鶏卵1個(約50g)
 - b 木綿豆腐1丁(約300g)
 - c 食パン6枚切り1枚(約60g)
 - d 米飯(炊飯後)茶碗1杯(約160g)
 - e ビール中ジョッキ1杯(約570mL)
8. 重症複合免疫不全症で正しいのはどれか。
 - a 全身のリンパ節が腫大する。
 - b ウィルスへの免疫は保たれる。
 - c 顕性遺伝(優性遺伝)の形式をとる。
 - d 血清免疫グロブリンは正常範囲である。
 - e 生後間もなくから体重増加は不良となる。
9. 最近10年間の我が国の患者調査において65歳以上で患者数(外来)が最も多いのはどれか。
 - a 糖尿病
 - b 緑内障
 - c 高血圧症
 - d 悪性新生物
 - e 脂質異常症
10. 高齢者で増大するのはどれか。
 - a 骨量
 - b 脈圧
 - c 肺活量
 - d 心拡張能
 - e 糸球体濾過量

エコー・リレー

(598回)

(南から北へ北から南へ)

将棋 ○ 将棋 ● 将棋

都城市 西浦医院 にし うら ゆういちろう 西 浦 勇一郎

小学校低学年時に父親から手ほどきを受けたのが、将棋との出会いでした。最初は全く勝てなかったのですが、一年もすると勝てるようになりました。そして、ある時期からパタリと

相手をしてもらえなくなりました。父親の駒得した時の高らかな笑い声や、勝った時の笑顔は今でもはっきりと覚えています。

それ以降は将棋に時々ふれる程度でしたが、30代半ばより、その父の勧めもあり三股町の将棋道場に通うようになりました。藤井7冠(2025年5月現在)の活躍前でしたが、当時から子供達も沢山通っていて活気に満ちていました。初めは負けてばかりで、なかなか上達しなかったのですが、日本将棋連盟公認指導員の満石先生の丁寧な指導で徐々に強くなり、県大会出場やアマチュア三段を頂く荣誉に恵まれました。

それでも、大人の威厳を見せたい気持ちとは裏腹に、今でも小学生に負けることもあり、「負けました」と頭を下げる羽目になります。その昔、私に負けた時の父の気持ちが理解できる気がします。道場の子供達は、将棋の腕もさることながら礼儀作法も良く、満石先生の指導の素晴らしさが感じられます。そうこうするうちに、将棋の楽しさにどっぷりハマリ、いつの間にか僕の本棚は将棋の本でいっぱいです。将棋は上達すればするほど面白いですし、同時に奥深さを実感します。これからも楽しんでいこうと思います。

[次回は、都城市の小山田 剛先生をお願いします]

としより
高齢者のひとりごと宮崎市 阿波岐ヶ原病院 おか もと たけし 岡 本 剛

今年で69歳になります。数え年なら古希です。十分に「じい(爺)」です。人から指摘されると、自分でも驚いています。「もうそんな年かな?」と。

一昨年大学病院で、癌の外科手術を受けました。再発するかどうか、現在執行猶予の状態です。眼は飛蚊症で黒い点々が時々見えますし、耳はアップルのアプリで左右とも軽度難聴と出ました。小指の第一関節はちょっと屈曲していて時々痛みがでます。やはり老化現象が進んでいるようです。手術後、元の病院の内科勤務医に復帰し外来に、病棟患者の回診、週に2~3回の当直をこなしています。退職の予定はなく後継者の予定もありません。安穏な隠居生活は、来そうにありません。

2025年問題というのがあります。2025年いわゆる団塊の世代が75歳の後期高齢者になり、5人に1人が高齢者になり、その割合は2040年まで増え続けます。医療費や介護費は増大し、社会保障費が不足することになります。高齢者は病気にならず、健康でい続け、最後まで働けということでしょうか。ゆとりを持って働くためには高齢者も含めた人と人とのつながりが大事でしょう。「医は算術」である、と皮肉られていましたが、今や病院、医院は、破産、閉院や統廃合で悲惨な状態です。病院、医院も高齢化しています。まだまだ受難な時代が続くのでしょうか。頑張るしかないのでしょうか。

[次回は、日南市の長友 安弘先生をお願いします]

メディアの目



移住者の課題は雇用，教育

共同通信社 宮崎支局長

みつ の りゅうたろう
満 野 龍太郎

人口が100万人を切りそうな宮崎県。人口減対策として、県外からの移住者が注目を集めている。あくせくした都会での生活よりもゆっくりとした地方の生活に魅力を感じて移り住む人が多い。雇用や教育などの課題を解決すれば、より移住しやすくなりそうだ。

愛知県から日向市に約13年前に移住した三村隆之さん（40代）は、サーフィンを楽しみながら、病院で事務の仕事をしている。「自然の中で趣味を楽しんでいます」と日焼けした顔の笑顔が素敵だ。

公務員時代は月の残業が160時間になるなど多忙な日々。妻の実家が日之影町にあり宮崎県への移住を長らく考えていたが、家族を養う仕事を見つけるまで2年半ほどかかった。

「通勤電車で約2年、就活サイトをチェックしても、いい仕事になかなか見つからなかった」と思い出す。ようやく病院の事務職を見つけて応募。移住当時の給料は以前の半分程度だったが「共働きでしのいでいます」という。

都農ワイン取締役営業部長の福嶋進吾さん（40代）は、千葉県から都農町に引っ越して移住して7年になる。もともとはシステムエンジニア。3人の子どもは宮崎育ちだ。「自然に恵まれた環境はよい。ただ、学校や習い事の方が少なく、都会との教育格差が気になる。子ども

には選択肢が少なく気の毒。インターネットの活用で、ある程度埋めるとはいえ限界もある」と感じている。

現状では「雇用」と「教育」が、移住者のハードルを高めているようだ。

加えて「地域との共生」もとても大事だ。三村さんは自宅近くのお祭りに参加するなど地域とのつながりを重視している。地域のひょっこ踊りには、お面や笛を自分で作って参加。同じ世代との稽古で、人脈が一気に広がった。

サーフィンに没頭し、地域に溶け込めないまま宮崎を去る人も後を絶たないという。

移住者が地域に溶け込むには、地域でのジェンダー意識の高まりも必要に思える。移住者からは「地域の活動が男性中心で、女性はサポート役に回ることがほとんど。女性が地域で活躍し、子育てもしやすい環境になれば、人口減対策につながるのではないか」といった声が聞こえる。

県の人口は103万人（2024年）。1年で1万人のペースで減ると、3年ほどで100万人の大台を割る計算だ。移住者が増加傾向とはいえ、自然減には追いついていない。県は「日本一生み育てやすい県」を目指している。移住者の声をもっと政策に生かすのも一手だと感じる。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第46回 閉院に関する実務的課題

**Q.**

当院では、親族に医師がおらず、また第三者への売却も上手くいかないことから、そう遠くない日に閉院をしようと考えています。しかし、いざ閉院をしようとしたとき、何をすべきなのかがよくわかりません。具体的に閉院に向けて何を準備し、何を注意すべきでしょうか。

医療機関が閉院する際には、患者・行政・職員などへの影響が大きいため、法的・実務的に重要ポイントのみに絞って回答いたします。

① 患者への告知と診療継続への配慮

通院している患者は突然の閉院となれば、治療先がなくなってしまうため、大きな問題となります。そのため、閉院の告知は2か月以上前に行うべきでしょう。また、患者に対しては、最終診察日や紹介先医療機関の案内を明記し、患者が治療の中断によって被害を受けないよう、転院先医療機関への紹介状の作成などの支援を行うことが重要です。

② 診療録（カルテ）の保存義務

医師は最終診療日から5年間はカルテの保存義務があります（医師法24条2項）。医療記録の保管方法を明確にし、紙カルテは倉庫などで管理、電子カルテはクラウド契約やHDD保存などが有効です。保管が困難なときは倉庫会社などとの保管委託契約も有効な手段の1つです。

③ 保険医療機関などの指定取消手続き

医療機関に関わる行政機関に対して廃止届の提出が必要です。保険医療機関・生活保護指定医療機関・地方厚生局・市区町村・労働基準監督署など、関係官庁への届出が複数発生しますので、どのような届出が必要であるかについて事前に確認すべきです。

④ 職員への解雇・退職手続き

閉院する場合、職員には解雇手続を要するため、原則30日前の解雇予告、または解雇予告手当の支払いが必要となります。また、各職員の社会保険・雇用保険・労働保険の脱退手続、離職票・源泉徴収票の発行も必要となります。加えて、就業規則や雇用契約書に基づき、有給休暇の消化・退職金などの清算処理も必要となります。その一方、閉院後の事務作業を手伝ってもらう場合には雇用契約を存続させる必要があります。特に、保険診療報酬の請求業務に注意してください（通常、最終診療月の翌月10日までにレセプト提出）。

⑤ 最後に

開業に比較し、今までの活動を清算する閉院作業は大変な作業となることが多く存在します。そのため、閉院の検討を始めた際には、ぜひ医師会や医師協同組合へ早期相談をお勧めします。

（回答 宮崎県医師協同組合顧問弁護士
弁護士法人きさらぎ 代表弁護士 高山 桂）

A.

<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール（genko@miyazaki.med.or.jp）、FAX、郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

私 の 本



宮崎市 大西医院
おお にし ゆう じ
大 西 雄 二

二つの道 医学と文学で

編集・印刷：宮日文化情報センター
定 価：本体 1,500円（税別）

自分史は2024（令和6）年5月29日から8月15日までの宮崎日日新聞の「二つの道 医学と文学で」を掲載されました。1986（昭和61）年より大西医院を開業しました。宮崎市郡医師会・宮崎県医師会の理事，警察医，産業医，社会保険の審査員を務め，2017（平成29）年に厚生労働大臣より，2018（平成30）年には警察庁長官より表彰を受けました。

著書に「自費出版大賞佳作」を受賞した『陽光の街で－警察医の手記』，「宮崎日日新聞社出版文化賞」を受賞した『宮崎県の感染症－その歴史と風土』，宮崎日日新聞歌壇賞を2014（平成26）年を受賞しています。

幼少期から全共闘運動全盛期の青春時代まで，地域医療に携わる医師としての取組みに，警察医の活動を通して見た社会について書いています。また脳梗塞により発症した失語症との闘いについても触れます。

自分の中にたくさん過去の出来事が仕舞われていることに気付きます。戻すことのできない年月の長さを思います。中にはできることなら消し去りたいこともあります。過去は変えられませんが，今日があり，新しい明日があります。

私にとって，書くという行為は希望であり，行く手を照らしだしてくれる光です。ひとつの点が線になってつながり歳月がひとつにまとまりました。

自分史を書くことによって，さまざまな障害を克服していくところに，その人の人生というものがあるといえるでしょう。どんな人に出会うかは，その人の必然だと思います。「理系と人文系の学識経験から出る言葉です。医学と文学の力がなければエッセイは書けなかったでしょう」の反響の言葉をいただきました。自分史を書くことによって，行く手の手がかりを見つける行為となったのです。



お知らせ

宮崎大学医学部学生からのお知らせ



第22回 宮崎大学医学部

音楽祭

2025.6.21(土)

開場 16:30- 開演 17:00-
会場 宮崎市民文化ホール

入場料無料
管打楽器部、室内学部、すずかけ太鼓、
合唱部、アカペラ、軽音楽部、他

お問い合わせ miyadaiongakusai@gmail.com (音楽祭実行委員会)
mio_yokoyama@med.miyazaki-u.ac.jp (音楽祭実行委員長)

最新情報、詳細はTwitter、Instagramよりご確認ください
[@musicfes_r5_mmu](#)

参加料は無料、申込みも不要です。ぜひお気軽にお越しください！

宮崎県感染症発生動向 ～4月～

令和7年3月31日～令和7年4月27日（第14週～第17週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核10例（男性5例・女性5例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は30歳の男性で，主な症状は，腹痛，水様性下痢，血便であった。原因菌はO157（VT2）であった。

4類：○A型肝炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳の女性であった。主な症状として食欲不振，黄疸がみられた。

○重症熱性血小板減少症候群（SFTS）1例：延岡保健所管内から報告があった。年齢は80歳の男性であった。主な症状として発熱，神経症状，下痢，血小板減少，白血球減少がみられた。

○つつが虫病2例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は20歳代と70歳代で，性別は男性1例，女性1例であった。主な症状として頭痛，発熱，刺し口，リンパ節腫脹，発疹，嘔吐，ふらつきがみられた。

○日本紅斑熱1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は70歳の女性であった。主な症状として発熱，刺し口，発疹，肝機能異常，全身倦怠感がみられた。

5類：○アメーバ赤痢1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は50歳代で，病型は腸管外アメーバ症であった。主な症状として肝膿瘍，右胸水がみられた。

○ウイルス性肝炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は30歳の女性であった。病型はEBウイルスで，主な症状として全身倦怠感，嘔吐，発熱がみられた。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例：宮崎市，都城（各1例）保健所管内から報告があった。年齢は70歳代と80歳代で，主な症状としてショック，腎不全，急性呼吸窮迫症候群，DIC，軟部組織炎がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症5例：宮崎市，都城（各2例），延岡（1例）保健所管内から報告があった。

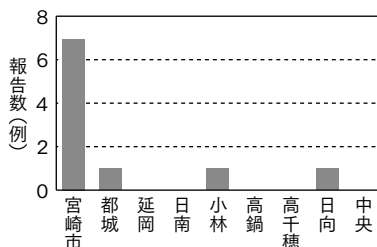


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	4
その他の結核 (結核性胸膜炎)	1
無症状病原体保有者	5

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
10歳代	1
20歳代	1
30歳代	1
40歳代	1
50歳代	2
70歳代	1
80歳代	2
90歳代	1

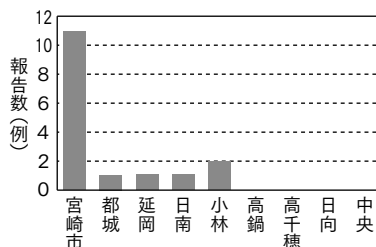


図2 梅毒 保健所別報告数(例)

表3 梅毒 病型別報告数(例)

早期顕症梅毒Ⅰ期	6
早期顕症梅毒Ⅱ期	4
無症状病原体保有者	6

表4 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
10歳代	3
20歳代	7
30歳代	2
50歳代	3
80歳代	1

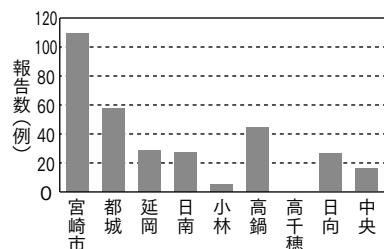


図3 百日咳 保健所別報告数(例)

表5 百日咳 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	14
5～9歳	46
10歳代	221
20歳代	5
30歳代	6
40歳代	10
50歳代	6
60歳代	2

年齢は60歳が2例，80歳代が2例，0～4歳が1例であった。主な症状として発熱，咳，全身倦怠感，嘔吐，意識障害，肺炎，菌血症等がみられた。

○梅毒16例（男性7例・女性9例）：保健所別報告数は【図2】，病型別報告数は【表3】，年齢別報告数は【表4】のとおりであった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，眼症状がみられた。

○百日咳310例：保健所別報告数は【図3】，年齢別報告数は【表5】のとおりであった。主な症状として持続する咳，夜間の咳き込み，呼吸苦，スタックート，ウーブ，チアノーゼ，白血球数増多，肺炎等がみられた。ワクチン接種歴は有りが204例，不明が97例，無しが9例であった。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数（急性呼吸器感染症は除く）は2,129人（定点あたり100.9）で，例年（新型コロナウイルス感染症・急性呼吸器感染症は除く）の90%であった。急性呼吸器感染症の患者報告総数は4,743人（定点あたり169.4）であった。

例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はRSウイルス感染症，感染性胃腸炎，伝染性紅斑であった。

RSウイルス感染症の報告数は152人（7.6）で例年の約3.0倍であった。小林（43.0），中央（12.0），延岡（11.5）保健所からの報告が多く，3歳以下が全体の約9割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は1,202人（60.1）で例年の約1.5倍であった。小林（141.0），日向（105.0），日南（94.0）保健所からの報告が多く，1歳から5歳が全体の約半数を占めた。

※4月分は，定点医療機関数が3月分と異なっています。

■病原体検出情報（微生物部）

★急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）

検出病原体			検出数
インフルエンザ ウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	5
		山形系統	0
新型コロナウイルス			3
RSウイルス	A型		0
	B型		1
パラインフルエンザ ウイルス	1型		1
	2型		0
	3型		4
	4型		1
ヒトメタニューモウイルス			4
ライノウイルス			11
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
パラインフルエンザウイルス3型・ライノウイルス			1
検出せず※2			16
受付検体数			47

前月との比較

	2025年4月		2025年3月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	230	6.6	237	4.1	
新型コロナウイルス※1	190	5.4	568	9.8	
RSウイルス感染症	152	7.6	292	8.1	★
咽頭結膜熱	57	2.9	60	1.7	
溶レン菌咽頭炎※2	145	7.3	292	8.1	
感染性胃腸炎	1,202	60.1	2,318	64.4	★
水痘	19	1.0	19	0.5	
手足口病	6	0.3	5	0.1	
伝染性紅斑	48	2.4	74	2.1	★
突発性発しん	40	2.0	48	1.3	
ヘルパンギーナ	1	0.1	2	0.1	
流行性耳下腺炎	6	0.3	4	0.1	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	16	2.7	10	1.7	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	1	0.1	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	3	0.4	3	0.4	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	13	1.9	8	1.1	
急性呼吸器感染症	4,743	169.4			

★例年同時期【新型コロナウイルス感染症流行前5年間（2015-2019）の平均】より報告数が多い

※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

○急性呼吸器感染症（ARI）※1サーベイランス検体について，急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い，検査を実施した。

○パラインフルエンザウイルス3型とライノウイルスの重複感染例が1件あった。

※1 急性呼吸器感染症（ARI）：咳嗽，咽頭痛，呼吸困難，鼻汁，鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し，発症から10日以内の急性的な症状であり，かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

検出病原体		件
細菌	<i>Salmonella enterica</i> subsp. <i>enterica</i> (血清型不明)	1
	Rotavirus groupA G3	1
ウイルス	Respiratory syncytial virus B	1
	Influenza virus B (Victoria Lineage)	1

■月報告対象疾患の発生動向〈2025年4月〉

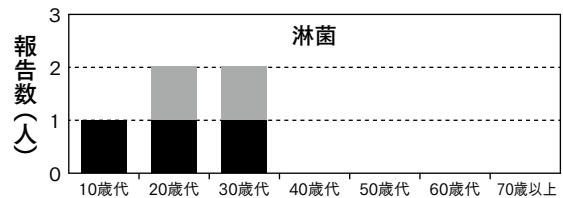
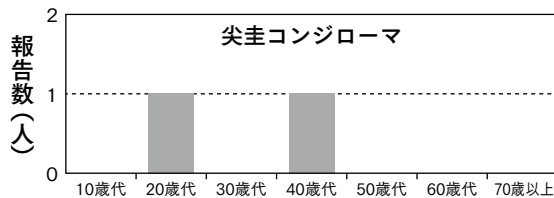
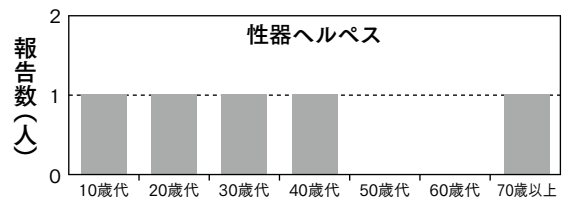
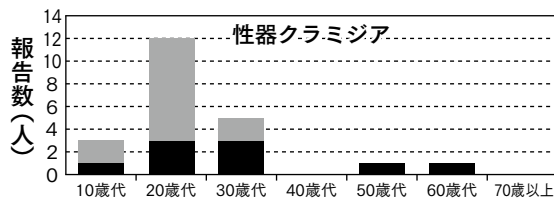
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は34人（2.6）で、前月比103%とほぼ横ばいであった。また、昨年4月（2.9）の約0.9倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数22人（1.7）で、前月及び昨年4月の約1.0倍であった。20歳代が全体の約半数を占めた。（男性9人・女性13人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数5人（0.38）で、前月の約0.6倍、昨年4月の約0.8倍であった。（女性5人）
- 尖圭コンジローマ：報告数2人（0.15）で、前月の2.0倍、昨年4月の約0.7倍であった。（女性2人）
- 淋菌感染症：報告数5人（0.38）で、前月の約1.7倍、昨年4月の1.0倍であった。（男性3人・女性2人）



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は20人（2.9）で、前月比167%と増加した。また、昨年4月（2.7）の約1.1倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数20人（2.9）で、前月の約1.7倍、昨年4月の約1.1倍であった。70歳以上が全体の7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

ご加入のすすめ

加入資格

1つでも該当したら…

医師年金ご加入をおすすめします!

医師年金ホームページで、
簡単シミュレーション！



ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、簡単に受取年金月額のシミュレーションができます。
ぜひお試しください。

▼個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら



TEL : 03-3942-6487 (直通)
FAX : 03-3942-6503
受付時間 : 午前9時30分～午後5時(平日)
E-mail : nenkin@po.med.or.jp

[illegible]

各都市医師会だより

西都市西児湯医師会

西都市西児湯と宮崎市郡は診療圏が重なっており、お互いの医療問題を共有することが肝要であるため、平成29年度より両医師会で意見交換会を行っています。今年は3月12日に「バルの2月」で行われました。宮崎市郡医師会19名、西都市西児湯医師会8名の参加でした。宮崎市郡医師会からは行政による胃リスク検査、PSA検査など健診項目削減への懸念、西都市西児湯医師会からは市長交代によりようやくもたらされる市と医師会との関係改善の報告がありました。

4月より带状疱疹ワクチン接種が始まりました。住民は市町村からの案内で接種に動きますが案内方法はさまざまで封書で問診票付きのクーポン券、予防接種の説明書、ワクチンの比較説明書、医療機関の紹介がセットで送られてくるケースからはがき一枚の市町村もあります。案内方法は接種率に影響しますし、はがき一枚だと医療機関丸投げで来院時に一から説明をしなくてはならず医療機関の負担が大きくなります。定期接種化されたワクチン接種案内方法が市町村によって大きく異なることを知りましたが、西都市ははがき一枚での案内であり市には改善をお願いしたところでした。

健診やワクチン定期接種など行政とともにやっていかねばならない事業に関しては市町村との綿密な申し合わせが必要とされると同時に医師会同士の情報交換も重要だと考えさせられました。

(杉尾 克徳)

宮崎市郡医師会

トランプ大統領による関税問題と国内輸出企業に対する消費税の還付問題は、消費者の税負担と国内産業の保護という点で共通しています。見方を変えると輸入品目の物価上昇と消費者負担は、輸出企業に対する過度の保護政策と密接に関わっているように感じられます。コメ価格の高騰も減反政策と政府による奨励金のいびつな構造が根底にあり、結局は票とカネ、資本主義ゆえの顛末と割り切らざるを得ないのでしょうか。

(尾田 朋樹)

都城市北諸県郡医師会

7月は参議院選挙があります。今後の診療報酬改定に関して医師会として重要な選挙となります。今回日本医師会から立候補予定の「かまやち さとし」先生の当選はもとより、獲得票数も非常に重要な選挙のポイントです。現在の情勢では、医療従事者以外からの票数獲得は非常に厳しい状況と考えられます。

各医師会会員先生方、その家族、職員や関連施設のスタッフなどにぜひ応援のお声がけをよろしくお願いいたします。可能でありましたらサポーター名簿の作成、提出およびLINE登録も合わせてお願い申し上げます。

(吉見 雅博)

延岡市医師会

南海トラフ地震の発生が現実味を帯びてきており、各所で防災時の対応が検討され、マニュアルなどの作成が行われています。当医師会もここ数年マニュアルの作成など検討してきましたが、いまだ完成には至っておりません。より現実的なものとしてマニュアル作成と並行して災害対応時ポスターやアクションカードなどの作成を検討しています。まずは会員間の情報共有アイテムとして、安否確認システムを導入し、発災直後に立ち上がった対策本部と会員との情報が共有できるようにするために、全会員にIDを作成し、専用アプリのインストール・ログインをしていただく作業をしています。

(平野 雅弘)

日向市東臼杵郡医師会

当医師会は学術生涯教育活動の一環で市民講座、講演会に協力しています。昨年はHPVワクチンに関する講演会を、川越靖之先生、原千晶さんにおいでいただき行いました。多くの市民に関心を持っていただいたようです。また、デイリー健康福祉事業団が行う『デイリー健康大学』に毎年講師を派遣しています。昨年度は高石真那斗、瀧井穰の両先生が講演されました。それぞれわかりやすい、身近な話題で好評でした。今後も市民に向けた健康増進に役立つ情報を発信していきたいと思っています。

(長田 浩伸)

児 湯 医 師 会

今年、宮崎大学医学部附属病院で臨床研修を終えた研修医の中で外科を専攻する方はいなかったと聞いています。深刻な外科医不足は救急医療体制にも大きく関わってきます。20年以上前から宮崎市内で時間外の外科手術の受入れ、緊急内視鏡の対応が問題となり輪番制がとられていましたが、最近その維持が困難となっているようです。外科医を志望する若手医師の不足、現役外科医の高齢化で外科医は絶滅危惧種になりつつあるのでしょうか。若手外科医の育成および救急医療体制を含む広域での地域連携の整備と充実が急務と思われます。

(吹井 聖継)

南 那 珂 医 師 会

串間市民病院では2025年4月1日付で、江藤敏治医師に代わって串間市元職員の高橋和哉氏が病院事業管理者となりました。それにもない江藤医師は院長を辞すことになりましたが、これまでどおり診療を継続しています。医師数は昨年と比べて3人減少して、9人となりました。現在のところ救急医療体制は維持できていますが、医師数が回復して以前の体制に戻るまで、南那珂医師会の先生方にはご迷惑をかけると思います。ご理解をいただくようお願いいたします。

(黒木 和男)

西 諸 医 師 会

長崎で医療用搬送ヘリが墜落し、医師・患者・患者家族の3人が死亡する事故がありました。西諸地区は遠方であり、ヘリによって助けられた命もたくさんあると思います。僕の中ではドクターヘリは早くて、安心・安全なものだと思っていました。日本ではヘリコプター事故での死亡数が年間5人ほどで、もちろん安全とは言いきれないと思います。ヘリが来てくれるのは、当たり前ではなく、もっと感謝をしなければいけないと強く思い、原因究明と再発防止を願っています。

(楠元 規生)

西 臼 杵 郡 医 師 会

高千穂町国民健康保険病院の佐藤と申します。西臼杵医療センターの主導のもと救急隊が当院に常駐し医療技術の研修を行いながら、いざ救急要請があれば当院から出動する「救急ワークステーション」が始まっています。また、この冬の医師の急な退職にともない、宮崎県へき地医療支援機構の医師派遣制度に申請し県立延岡病院から医師派遣をいただき急場をしのぐことができました。4月以降もその制度を活用し、若い医師への技術指導に来院いただいております。この場をお借りして関係各位にお礼申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

(佐藤 祐二)

宮崎大学医学部医師会

4月から、宮崎大学ラジオ「Myaohらじ」を始めました。FM宮崎「Bunnyのナツウタ」の番組の中の1コーナーで、毎週金曜日の13時半ごろに放送されます。4月は鮫島学長と私がラジオの目的などについてお話ししました。5月は呼吸器内科の宮崎教授、6月は循環器内科の海北教授にcommon diseaseについてお話しいただく予定です。企画は広報担当である放射線科の東教授が担当しており、病院の紹介だけでなく、宮崎大学全体の取組みも紹介していく予定です。乞うご期待！

(賀本 敏行)

宮崎大学医学部だより

感覚運動医学講座 ー耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野ー



たかはし くにゆき
高橋 邦行 教授

令和6年8月4日に宮崎医科大学医学部耳鼻咽喉科講座の初代教授、元宮崎医科大学長の森満保先生がご逝去されました。森満先生は数多くの耳科手術を行うだけでなく、中耳真珠腫の発生要因から前鼓室開放術を考案され、真珠腫手術成

績の向上に貢献されました。晩年まで研究に対する真摯な姿勢を教室員にお示しください、我々にとって大変暖かく大きな存在でした。これまでのご功労に敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

教室にとって大変大きな存在が失われた中ではありますが、森満先生がお示しくださいました情熱を新たな教室活動に活かしていきたいと考えております。

高橋邦行教授が令和4年10月1日に第4代耳鼻咽喉科教授として新潟大学より赴任され、2年7か月が経過いたしました。大変やる気に満ちた新たな医局員も迎え、未来の宮崎県の耳鼻科医療を担う医師となるように、成長をサポートしていきたいと考えております。

宮崎大学耳鼻咽喉・頭頸部外科教室は高橋邦行教授、後藤隆史助教（教育医長）、井手慎介助教（病棟医長）、梶原啓助教（外来医長）、中村雄講師以下外来サポートを含む医員4名と技官1名、言語聴覚士4名で構成されております。

関連病院としては、県立宮崎病院、県立延岡病院、県立日南病院、都城医療センターなどの本県の主要な病院だけでなく、鹿児島市立病院やがん研有明病院にも教室員を派遣しております。

以下、当科における各専門領域につきましてご紹介させていただきます。

● 耳科グループ

高橋教授を中心に、中耳真珠腫やさまざまな難聴病態に対する鼓室形成術、アブミ骨手術、人工内耳手術、骨導インプラント手術などの先進的耳科手術を積極的に行っております。故森満先生が九州で最初に行った人工内耳手術は、全国で有数の症例数を誇ります。

● 鼻科グループ

後藤助教、梶原助教を中心に慢性副鼻腔炎、難治性の好酸球性副鼻腔炎、鼻腔腫瘍、鼻中隔彎曲症などに対して内視鏡下鼻内副鼻腔手術を行っております。最新式のナビゲーションシステムを導入し、これまで以上に安全な手術を行えると同時に、学生指導にも活用し、好評を得ております。

● 頭頸部がんグループ

井手助教を中心に、口腔・咽喉頭・鼻腔・甲状腺・唾液腺がんなど、頭頸部領域の悪性腫瘍手術を行っております。術後の機能的制約も伴うことが多い頭頸部がんの治療に対して患者さんとの対話し、よりよい治療の選択肢を検討しながら治療を行っており、近年承認された免疫チェックポイント阻害薬であるペムブロリズマブの使用例は九州でも有数の症例数を誇ります。

● 難聴支援センター

中村講師、塚田医員を中心として4名の言語聴覚士が難聴者に対する聴覚リハビリテーションを行っております。難聴児の早期診断と療育および、補聴器や人工聴覚器を用いた聴覚リハビリの専門集団として新生児から高齢者まで、県内外の難聴者に対して幅広く支援活動を行っており、補聴器の装用効果を確認する「補聴器適合検査」の件数は全国でも有数の症例数を誇ります。

宮崎県の最後の砦として、先進医療のみならず、難治性鼻出血、緊急性を要する上気道閉塞疾患など積極的に対応したいと考えております。今後とも医局員一同地域医療充実のため、精進する所存です。医師会の先生方におかれましては、より一層ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

（医局長 中村 雄）

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(泌尿器科医会)



ふく だ そう い ち ろ う

福田聡一郎 会長

宮崎県泌尿器科医会の令和7年4月現在の総会員数は97名です。令和4年が85名でしたので、わずかながら増加傾向です。若いメンバーも増え、今後のますますの発展を期待しています。

会員数は少ないですが、全会員、顔が見える関係でチームワークは良好です。役員構成は副会長が永友和之、池井義彦の2名、幹事として、村上憲彦、南口尚紀、竹原俊幸、村岡敬介、小林隆彦、月野浩昌、分田裕順、黒岩顕太郎、蓑田国廣、鬼塚千衣の10名、監事に棚田敏文、顧問は中山健の各先生にお願いしています。

当会の活動の中心は2か月ごとに開催され、今年2月で第252回を迎えました泌尿器科医会です。大学の賀本敏行教授の力添えで全国トップレベルの講師をお招きし、ご講演を拝聴しております。直近の5回の内容は「腎細胞がんの薬物療法 Up to date」「耐性菌を考慮した抗菌薬の使い方」「当院における前立腺癌診療 present and future」「血尿診断ガイドライン 2023年改定のポイント」「ICとOABについて」と多岐にわたっています。これに加え、県内科医会との共催で「過活動膀胱」に関する講演会も開催いたしました。

当科では病診連携を図るために前述の賀本教授が立ち上げました「Miu-Net（宮崎県泌尿器

科連携）」を利用し基幹病院と一般診療所とが共同し患者様を診ていくシステムもうまく稼働していると自負しています。最近では、緩和医療や在宅医療に参画するメンバーも増え、診断から治療、緩和ケア、在宅ケアまでの泌尿器科診療がより充実してきています。

ここ数年、コロナ禍で中断を余儀なくされていました前立腺癌早期発見・治療のための県民の皆様に対しての啓発活動も再開され、昨年2月に県医師会の協賛のもとに、宮崎市民文化ホールにて「前立腺がんの診断から治療まで」というテーマで、宮崎大学の賀本敏行教授、澤田篤郎准教授、潤和会記念病院泌尿器科の月野浩昌部長に講演をお願いし、市民公開講座を開催いたしました。当日は雨天で寒く、聴講者が集まるか不安でしたが、定員200名、ほぼ満席の状態となり、市民の皆様の前立腺がんについての関心の高さをあらためて実感いたしました。さらに、県透析医会との共同で「腎移植」「慢性腎臓病」に関しての啓発活動にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

当泌尿器科医会は上記のような活動を通して県民の皆様によりよい医療を提供し、地域医療の発展に寄与していくよう努めてまいります。宮崎県医師会の先生方には、泌尿器科医会に対するご指導、ご協力、ご支援を何卒よろしくお願いいたします。

日医インターネットニュースから

■診療側「純粋な引き上げ改定を」 — 中医協・支払い側「病診分析を」—

中医協総会（会長＝小塩隆士・一橋大経済研究所特任教授）は4月23日、2026年度診療報酬改定に向け、医療機関を取り巻く状況について議論した。

診療側は、過去の改定では診療報酬を引き上げてもさまざまな要件が付加されることで、算定に多くのコストが求められてきたと指摘。26年度改定は、要件の達成によりコスト増になることがない「純粋な引き上げ改定」が必要だと強く主張。支払い側は、医療法人における病院と診療所の利益率の格差のさらなる分析などを求めた。

厚生労働省は議論の課題として、▽近年の医療機関の経営状況の実態やその要因▽病院で収益の増加を超える費用の増加で収支の悪化が見られ、人件費、材料費、委託費などの各費用項目が増加している要因▽今後、医療機関の収支を踏まえた診療報酬の評価の検討を行うためのさらなる分析 — の3点を挙げた。議論のためのデータも示した。

●次期改定は他産業に負けない賃上げ

診療側の長島公之委員（日医常任理事）は、社会保障予算における財政フレームの見直しなどを求める、日医・6病院団体の合同声明を説明。その上で「次期改定の最大の課題は、他の産業に負けない賃上げが実現できるように医療機関の収支を改善させること。そのためには診療報酬の引き上げが必要だ」と述べた。

その上で「これまでは診療報酬を引き上げてもさまざまな要件が付加されることで、算定するために多くのコストを費やすことを求められてきた。コストを費やす形ではなく、純粋な形で診療報酬を引き上げなければならない状況にある。これを次期改定のスタートラインにすべきだ」と主張した。

●過去のデフレ期も考慮を

支払い側の松本真人委員（健保連理事）は「昨今のインフレを踏まえた議論を否定するつもりはないが、過去のデフレ期はどうだったのかを考慮することも必要だ」と述べた。

医療法人経営情報データベースにも言及し「22年度から23年度にかけて、医療法人の利益率が低下していることは事実として受け止めて

いる。平均値と中央値で病院の利益率がより低い。病院と診療所で相変わらず格差がある」として、引き続き「病院の機能・規模」や「診療所の患者数・医師数」という切り口で詳細な分析が必要と指摘した。

厚労省が示した、外来・在宅ベースアップ評価料の届け出状況のデータでは、今年3月時点で病院が86.0%、診療所が27.8%だった。松本委員は「診療所で低調な要因を詳細に分析する必要がある」と話した。

（令和7年4月25日）

■コロナワクチン納入量、見込みの2割 — 25年度供給に影響も —

2024年度の新型コロナワクチン接種について、医療機関への納入量が今年1月時点で約786万回分だったことが、厚生労働省への取材で分かった。期間中の見込み供給量として当初示していた約3224万回分に対し、2割程度にとどまった。接種数が低調だったことで、今年度の供給に向けた製薬各社の判断に影響を与える可能性もある。

コロナワクチンは24年度に初めて定期接種化された。65歳以上の高齢者と60～64歳で重症化のリスクが高い人を対象に、24年10月～25年3月末まで接種を行った。使用したワクチンは次の通り。▽ファイザーの「コミナティ」▽モデルナ・ジャパンの「スパイクバックス」▽武田薬品工業の「ヌバキソビッド」▽第一三共の「ダイチロナ」▽Meiji Seika ファルマの「コスタイベ」—。

ワクチンの見込み供給量は、定期接種開始前に、ワクチンを製造する5社から厚労省がヒアリングした結果を集計したもの。昨年9月時点では、ファイザー、モデルナ・ジャパン、第一三共の3社合わせて約2527万回分、武田薬品工業が約270万回分、Meiji Seika ファルマが約427万回分を供給可能としていた。

●打ちたい人が打てる体制を整備 厚労省

当初の予定と実際の納入量に大きな差があったことについて、厚労省の担当者は「初めての定期接種ということで、各社とも最大限の供給見込みを示したのだろう」と取材に述べた。また、定期接種化したことで「（ワクチンを）打ちたい人が打てる体制を整えることが重要だ」

との考えを示した。

なお、定期接種期間中における新型コロナの定点当たり患者数は、おおむね前年同時期を下回っていた。また、ワクチンの供給不足に関する情報は厚労省に寄せられなかったという。

24年度と単純比較はできないものの、23年度の9月から翌3月末に行った特例臨時接種における公費接種では、全体の接種回数が2846万回。65歳以上の高齢者に限ると1927万回だった。

厚労省は今年度も10月から定期接種を行う方向としている。今後、使用するワクチンの抗原組成を5月ごろに選定し、各社に通知。各社の供給見込みは9月上旬までにそろそろ見通した。

コロナワクチンを巡っては、厚労省は今年、今年度の定期接種に際し自治体に対する助成を行わない方針を明らかにした。厚労省は特例臨時接種から定期接種への移行措置を終了し「通常のワクチンと同様の扱いとした」と説明。ワクチンの接種数や感染状況も加味したとしている。

(令和7年4月29日)

■研鑽の線引き「各施設で議論を」 — 厚労省、働き方改革から1年 —

医師の働き方改革が昨年4月に施行され、約1年が過ぎた。厚生労働省は、論点の一つとして「研鑽」の取り扱いに言及し「労働時間に当たる研鑽とそれ以外の研鑽の線引きは、各医療機関で議論することが重要」との認識を示す。医政局医事課医師等医療従事者働き方改革推進室の和泉誠人氏がメディファクスの取材に応じた。

研鑽の扱いは、厚労省の「医師の働き方改革に関する検討会」で重要な議題の一つになった。医療機関の指示の下で行う「労働時間に当たる研鑽」と、医師としての技量を高める「労働時間にならない研鑽」の線引きをどのように整理するかだ。

労働基準局長が2019年に出した研鑽に関する通知の解説資料では、所定労働時間外の研鑽が労働時間か否かは、上司の明示・黙示の指示

の有無で判断すると整理。どこまでが指示に基づく労働時間かは各施設が定める手続きに基づいて「医療機関が個々の医師ごとに判断」と明記した。

しかし、日本外科学会が4月に公表した実態調査で、自己研鑽の定義について、47.5%が診療科の体制として「定まっていない」と回答するなど、医療現場の課題の一つとなっている。

和泉氏は、生涯学び続けるという医師の仕事の性質上、研鑽は労働時間内・外のどちらもあり得るものであり「個々の医療機関で議論した上で、組織として決定してほしい」との見解を改めて示した。

●取り組み自体が「成果」

厚労省は改革を広く浸透させるため、都道府県を通じて「実態把握」と「支援」に取り組んでいる。都道府県から、改革に伴う医師の引き揚げ状況や地域医療への影響を把握したり、タスクシフト・シェアやICT活用に対して、地域医療介護総合確保基金や昨年度補正予算の活用を呼びかけたりしている。

改革の意義に挙げるのは、長時間労働で医療を支えてきた医師の働き方や、労務管理について「正面から受け止めたこと」だ。医療機関や都道府県が働き方改革の具体的な取り組みに着手していること自体が「重要な成果」と言及した。

厚労省が昨年度に公表した医師の働き方改革施行後の状況に関する調査（昨年6～7月実施）では、地域医療に影響が出ると回答した医療機関は回答した全5653施設中、38施設（0.7%）だった。この結果については、おおむね「円滑な出だし」と受け止めている。

同様の状況調査の実施は今後予定していないが、改革に合わせて診療体制の縮小などを決断した施設の把握に引き続き取り組んでいく。

和泉氏は「医療を提供しながら働き方改革をどう実装するか」という視点が重要だと強調。働き方改革の個別、具体的な事例の収集・提供を進める構えだ。

(令和7年5月9日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字（半角）

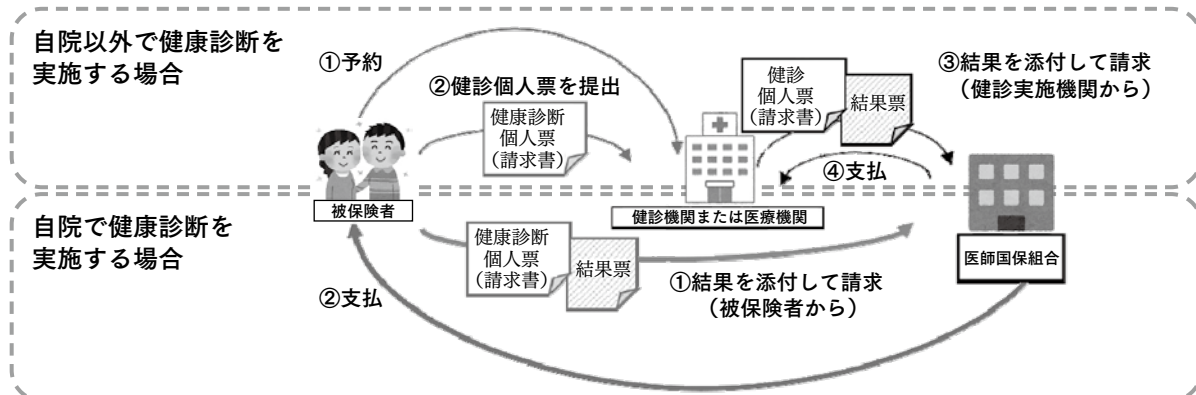
医師国保組合だより

保健事業のご案内

組合員の先生方へ保健事業に関する申請書一式を4月下旬に送付しております。ぜひご利用ください。
なお、各種申請様式は当組合Webサイトからもダウンロードできます。

1 健康診断 ※検査項目は「健康診断個人票」記載のとおりです。窓口負担はありません。

対 象 者	・組合員，高齢組合員およびその配偶者（被保険者） ・上記以外の被保険者は，本年度中に40歳になる方～74歳の方														
実施機関等	① 健診機関または医療機関（自院で実施しても請求可） ② 宮崎市郡医師会病院 健診センター Ⅰ 平日および土曜日（午前のみ）… 予約は直接健診センターへ（☎0985-77-9108） Ⅱ 日曜日健診 … 予約は当組合へ（☎0985-22-6588） Webでお申込みください⇒  【日曜日健診専用】 定員各30名 <table border="1"> <tr><td>第1回</td><td>令和7年10月26日（第4日曜日）</td></tr> <tr><td>第2回</td><td>11月16日（第3日曜日）</td></tr> <tr><td>第3回</td><td>12月14日（第2日曜日）</td></tr> <tr><td>第4回</td><td>令和8年1月25日（第4日曜日）</td></tr> <tr><td>第5回</td><td>2月8日（第2日曜日）</td></tr> <tr><td>第6回</td><td>3月8日（第2日曜日）</td></tr> <tr><td>第7回</td><td>3月22日（第4日曜日）</td></tr> </table> 日曜日健診のオプション検査 （人数制限あり/予約先着順） ・胃内視鏡検査 ・低線量ヘリカルCT肺がん検診 ・マンモグラフィ検査 ※子宮頸がん検診，大腸内視鏡検査は平日の健診のみで実施	第1回	令和7年10月26日（第4日曜日）	第2回	11月16日（第3日曜日）	第3回	12月14日（第2日曜日）	第4回	令和8年1月25日（第4日曜日）	第5回	2月8日（第2日曜日）	第6回	3月8日（第2日曜日）	第7回	3月22日（第4日曜日）
第1回	令和7年10月26日（第4日曜日）														
第2回	11月16日（第3日曜日）														
第3回	12月14日（第2日曜日）														
第4回	令和8年1月25日（第4日曜日）														
第5回	2月8日（第2日曜日）														
第6回	3月8日（第2日曜日）														
第7回	3月22日（第4日曜日）														



2 胃・大腸内視鏡検査の補助

対 象 者	・組合員，高齢組合員およびその配偶者（被保険者） ・上記以外の被保険者は，本年度中に40歳になる方～74歳の方
補助金額	・胃内視鏡検査 15,160円/人 ・大腸内視鏡検査 22,500円/人 ※1人1回，上記金額を上限とした実費

3 低線量ヘリカルCT肺がん検診（自己負担なし）

対 象 者	被保険者全員および高齢組合員
実施機関	当組合の委託医療機関 ※詳細は申請書裏面または当組合Webサイト参照
受診方法	① 医療機関へ受診の予約をしてください。 ② 検診当日は，受診券兼請求書を医療機関へご持参ください。

4 脳ドック等の補助

対 象 者	被保険者全員および高齢組合員
補助金額	頭部MRI, 頭部MRA, 頭部CT等 20,000円/人 ※1人1回, 上記金額を上限とした実費

5 肺炎球菌ワクチンの接種補助

対 象 者	被保険者全員および高齢組合員
補助金額	5,000円/人 ※過去5年以内に補助を受けた方は対象外 ※支払額が補助額を超えた場合の差額は自己負担

6 乳がん検診（マンモグラフィ検査）の補助

対 象 者	・女性組合員全員 ・上記以外の被保険者は, 年度中に40歳～74歳になる女性
実施機関	※下記の実施機関にて, <u>健康診断のオプションとして実施した場合のみ補助対象</u> ・宮崎市郡医師会病院 健診センター (☎0985-77-9108) ⇒月～金曜日実施 ・都城健康サービスセンター (☎0986-36-8700) ⇒火・木・金曜日実施
補助金額	自己負担金(1,000円/人)を除いた額

7 歯科健康診査（自己負担なし）

対 象 者	被保険者全員および高齢組合員
実施機関	宮崎県歯科医師会の会員歯科医院
健診内容	※いずれかのコースを選択 ・Aコース 歯科健康診査+歯石除去・歯のクリーニング ・Bコース 歯科健康診査+歯石除去・歯のクリーニング+フッ素塗布
申込・ 受診方法	申込書を組合宛にFAXまたはメールで申込→組合から対象者へ無料券等を人数分送付→対象者が実施機関に予約し受診。

8 インフルエンザワクチンの接種補助

対 象 者	被保険者全員並びに高齢組合員
補助金額	2,000円/人（高齢組合員は1,000円/人） ※年度内に1名につき1回の補助 ※接種済証明または領収書の提出が必要です。 領収書を添付された場合は2,000円を上限として実費を補助します。

各種手続きについては、Webサイトをご確認いただくか、当組合までお問い合わせください。

宮崎県医師国民健康保険組合
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地
☎ 0985-22-6588 FAX 0985-27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>



【当組合Webサイト】

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
e	a	a	a	d	b	a	e	c	b

**令和7年4月1日(火) 第1回常任理事協議会****医師会関係
(議決事項)****1. 後援・共催名義等使用許可について**

- ① 6/29(日) (県防災庁舎) 看護進路相談会の名義後援について
→看護職を希望する中高生と保護者向けの進路相談会で、名義後援をすることが承認された。

2. 令和7年度「宮崎県医療功労者知事表彰」候補者の推薦について

永年にわたり医療及び医療の推進に精励し、格段の功績があった方に対して贈られる表彰で、各郡市医師会から推薦された7名を推薦することが承認された。

**3. 宮崎県医師会職員就業規則等の改正について
（「決議の省略」の提案）**

「週休二日制の導入」「定年日の変更」「育児・介護休業法改正への対応」について、法定理事会の承認が必要となるため、定款に定める「決議の省略」を用いて、役員に対し提案することが承認された。

4. 6/7(土) (熊本) 九州医師会連合会第421回常任委員会並びに九州ブロック日医代議員連絡会議の開催について

九医連常任委員会については、河野会長が出席することが承認され、議題があれば事務局経由で会長に提出し、取扱いについては会長に一任することが承認された。九州ブロック日医代議員連絡会議については、日医代議員である河野会長、小牧・金丸副会長、市来常任理事と、日医委員会報告を行う吉田常任理事が出席することが承認された。

5. 令和7年度県立学校健康管理医業務内容及び報酬額について

県立学校の健康管理医（産業医）の業務内容と報酬額が承認された。ただし、業務内容①②について、健康管理医ではなく、業者に外部委託している学校もあるため、県に確認することとなった。

6. 5/16(金) (日医) 医師会立看護師等養成所会議（都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会）の開催について

これまでの医療関係者担当理事連絡協議会を拡大し、看護教育に携わる教員の技術向上を目指し、各養成所が抱える教育上の課題について意見交換することを目的とした会議で、赤須常任理事が出席すること、各学校に案内する事が承認された。

7. 8/24(日)中四九地区医師会看護学校協議会開催のご案内並びに参加申込等について

『看護師育成の未来を考える』をテーマに開催される協議会で、赤須常任理事が出席することが承認された。

(報告事項)

1. 4月1日現在の会員数について
 2. 3/29(土)(東京)全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員会・運営委員会について
 3. 3/30(日)(日医)九州ブロック日医代議員連絡会議について
 4. 3/30(日)(日医)日医臨時代議員会について
 5. 3/26(水)(宮大医学部)宮大医学部カリキュラム委員会について
 6. 3/27(木)(東京)日医未来医師会ビジョン委員会自民党青年局との意見交換会について
 7. 3/26(水)都道府県医師会かかりつけ医機能担当理事連絡協議会について
 8. 3/26(水)(県医)県医医学会役員会について
- 医師連盟関係

(議決事項)

1. 4/19(土)(JA-AZM)自民党県連第一選挙区支部長公募1次選考のご案内について
河野委員長が出席することが承認された。
2. 5/24(土)(シーガイア)河野しゅんじ県政報告会のご案内について
河野委員長が出席することが承認された。

令和7年4月15日(火) 第1回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について
 - ①県社会福祉協議会評議員候補者の推薦について
→社会福祉法に基づき設立され、本県の地域福祉の推進を図る団体の任期満了に伴う評議員の推薦依頼で、引き続き河野会長を推薦することが承認された。

- ②県移植推進財団役員の任期満了に伴う理事の推薦について

→移植医療の普及啓発及び体制整備等を目的とした財団からの任期満了に伴う推薦依頼で、引き続き小牧副会長を推薦することが承認された。

- ③県死因究明等推進協議会委員の推薦について

→死因究明等を行う専門的な機関の整備や施策の検討を行うために、県に新たに設置される協議会の委員の推薦依頼があり、玉置常任理事を推薦することが承認された。

- ④県アドバンス・ケア・プランニング推進委員会の委員の推薦について

→アドバンス・ケア・プランニングの普及啓発を図ることを目的に設置されている委員会で、任期満了に伴う委員の推薦依頼があり、引き続き内藤理事を推薦することが承認された。

- ⑤県医療介護推進協議会における委員の確認・推薦について

→地域医療介護総合確保計画に関する事項や在宅医療・介護の推進に関する事項等を協議する委員会で、任期満了に伴う委員の推薦依頼で、河野会長と金丸副会長を推薦することが承認された。

2. 業務委託について

- ①令和7年度医療労務管理支援事業の委託契約について

→医療従事者の勤務環境改善に取り組む医療機関に対し労務環境全般にわたる支援等を実施する事業で、契約を締結することが承認された。

②令和7年度小児在宅医療を担う人材の養成等に関する業務の委託契約について
→医療のケア児等が地域で安心して暮らすことを目的に、小児在宅医療を担う人材を養成する研修会を開催する事業で、契約を締結することが承認された。

③令和7年度かかりつけ医等発達障害対応力向上研修事業の委託契約について
→診断を行う医療機関の確保し、発達障がい早期診断・早期発見を図ることを目的に医療従事者に対して研修を行う事業で、契約を締結することが承認された。

④令和7年度県立学校の児童・生徒を対象とする心臓検診の委託契約について
→各県立学校の1年生（県立中等教育学校は1年生と4年生）を対象とした心臓検診業務で、生徒1人当たり2,750円（税込）の検査料で委託契約を締結することが承認された。

⑤令和7年度県立学校児童生徒の定期健康診断における結核健康診断の委託契約について
→学校健診の間診等で、学校医が結核健診の実施が必要と認めた場合に実施される検査業務で、委託契約を締結することが承認された。

⑥令和7年度肝炎ウイルス検査事業の委託契約について
→過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない20歳以上の県民（宮崎市を除く）を対象に行われる事業で、契約を締結することが承認された。

⑦令和7年度認知症地域医療支援事業に係る業務の委託契約について
→認知症サポート医、かかりつけ医、医療従事者に対する研修会の開催や、患者や家族が気軽に相談できる体制整備を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

3. 6/14(土)（県医）県医師会代議員会及び總會等について

一連の行事のスケジュール案が承認された。

4. 7/5(土)（福岡）九州医師会連合会第422回常任委員会の開催について

河野会長が出席することが承認され、議題があれば事務局経由で会長に提出し、取扱いについては会長に一任することが承認された。

5. 7/3(木)（日医）全国医師会産業医部会連絡協議会の開催について

全国の産業医部会等のネットワーク化と認定産業医支援事業の充実・強化を図ることを目的に開催される協議会で、池井常任理事が出席することと各郡市医師会に案内することが承認された。

6. 審査委員の推薦について

選任基準に従い県医師会及び郡市医師会並びに専門分科医会から出された44名の推薦を承認し、うち15名を診療担当者代表として推薦することが承認された。

7. ピンクリボン活動みやざき賛同団体継続確認及び協賛金のご協力依頼について

乳がんの早期発見・診断・治療の重要性を啓発する活動を行っている事業で、引き続き賛同団体となること及び協賛することが承認された。

8. 県医師会災害医療活動マニュアル（案）について

案のとおりマニュアルが承認され、今後
も定期的に見直しを行っていくこととなった。

（報告事項）

1. 週間報告について
2. 4/13(日)（日医）日医学校保健講習会について
3. 3/26(水)（九州厚生局宮崎事務所）九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
4. 4/15(火)（県医）九州厚生局宮崎事務所等との保険医療機関の指導計画等打合せについて
5. 4/8(火)（県医）組織強化・将来構想委員会について
6. 4/11(金)（県医）医家芸術展世話人会について
7. 3/26(水)（宮崎労働局）労災診療指導委員会・労災部会理事会について

医師連盟関係

（議決事項）

1. 5/13(火)（県医）県医師連盟総決起大会について

提案のとおり総決起大会を開催すること
と、各郡市医師会に対して出席を依頼する
ことが承認された。

2. 5/14(水)（東京）自民党議員連盟「国民医療を守る議員の会」出席について

「骨太の方針2025に向けて」を議題に開
催される会で、本連盟から1名出席をする
ことが承認された。

3. 5/24(土)（宮崎市民プラザ）自民党県連定期大会代議員名簿提出について

自由民主党宮崎県医療会支部長として河
野委員長及び支部選出の代議員として金丸
常任執行委員他6名の名簿を提出するこ
とが承認された。

4. 自民党県連表彰者の推薦依頼について

党籍20年以上で支部組織の拡張等に貢献
した方を対象とする表彰で、年齢が高い順
に10名を選定し推薦することが承認された。

5. 6/14(土)（県医）県医師連盟執行委員会について

主な議題等が説明され開催することが承
認された。

令和7年4月22日(火) 第2回全理事協議会

医師会関係

（議決事項）

1. 会費減免申請について

疾病による日医・県医会費減免1名、高
齢による日医会費減免1名、高齢による県
医会費減免1名の申請が承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

①「学校給食における食物アレルギー対応
委員会」委員の推薦について

→学校給食における食物アレルギーの適
切な対応を目的に設置される委員会
で、委員の任期満了に伴う推薦依頼が
あり、現委員及び県小児科医会の意向
を確認の上、推薦することが承認された。

②第75回“社会を明るくする運動”宮崎県推
進委員会委員への就任及び同推進委員会
への出席について

→犯罪や非行を防止し、安全で安心して
暮らすことのできる明るい地域社会を
築くこと等に取り組む委員会で、金丸
副会長が就任することが承認された。

③県社会福祉協議会評議員候補者の推薦に
ついて【再協議】

→社会福祉法に基づき設立され、本県の

地域福祉の推進を図る団体の任期満了に伴う評議員の推薦依頼で、再協議の結果、新たに金丸副会長を推薦することが承認された。

3. 業務委託について

①令和7年度医療従事者確保のための救急医療利用適正化推進事業（小児救急医療）の委託契約について

→小児救急医療の適正利用に係る啓発や小児救急電話相談の利用を促進するための事業で、契約を締結することが承認された。

4. 6/22(日)（日医）第159回日本医師会定例代議員会の開催について

令和6年度の決算の審議等が行われる代議員会で、河野会長、小牧・金丸副会長、市来常任理事が日医代議員として出席することが承認された。

5. 6/22(日)（日医）第159回日本医師会定例代議員会における九州ブロック代表質問について

日医への質問について、出席する日医代議員で検討し提出することが承認された。

6. 県サイバーセキュリティに関する連携協定について

安全で安心なサイバー空間の実現を目指し、相互に連携及び協力する事を目的に、本会と県サイバーセキュリティ協議会、県警察本部サイバー戦略局の3者で連携協定を締結することが承認された。

7. 7/5(土)・6(日)第56回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会について

共同利用施設に係る諸問題について協議することを目的に開催される協議会で、市来常任理事と赤須常任理事が出席することが承認された。

8. 5・6月の行事予定について

9. その他

大学医局員の加入促進のための予算措置について、「予算の補正等の措置は行わず、組織強化に係る経費を100万円程度まで認めること」、そして、「100万円を超えるような大きな支出がある場合には、改めて全理事協議会等で協議すること」が承認された。

（報告事項）

1. 週間報告について

2. 4/16(水)（支払基金）支払基金審査運営協議会について

3. 4/16(水)・21(月)（県医）広報委員会について

4. 4/17(木)（日医）都道府県医師会広報担当理事連絡協議会について

5. 宮崎県医師会バージョンの「日医君」イラストについて

6. 4/4(金)日医シンポジウム「医師会の創“医”工夫～医療人材確保に向けて～」について

7. 4/19(土)（県医）日医シンポジウム「未来ビジョン“若手医師の挑戦”」について

8. 4/22(火)（国保連合会）県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会について

9. 4/17(木)（県医）県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会について

10. 4/16(水)（日医）日医予防接種・感染症危機管理対策委員会について

医師連盟関係

（議決事項）

1. 4/23(水)（東京）松下新平君を囲む会について協力することが承認された。

2. 5/14(水) (東京)「国民医療を守る議員の会
総会」地元国会議員への出席依頼について
本県選出国会議員へ出席を依頼すること
が承認された。なお、郡市医師連盟からも
依頼をお願いすることとなった。
3. 5/20(火) (日医) 日医連拡大選挙対策会議並
びにかまやちさとし決起大会の開催について
河野委員長、金丸・吉田常任執行委員を
はじめ、5名出席をすることが承認された。

4. 5/20(火) (東京)「参議院議員自見はなこ参
議院議員政策セミナー」の開催について
協力することが承認された。

(報告事項)

1. 4/19(土) (JA-AZM) 自民党県連第一選挙
区支部長公募1次選考について
2. 4/20(日) (東京) 日医連医政活動研究会に
ついて

お知らせ

令和7年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を宮崎学園短期大学に委託しております。

貴院におかれまして、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、宮崎学園短期大学よりご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせなどにつきましては、直接担当者までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

令和8年3月末卒業予定者

【就職希望者】 10名(男0人, 女10人)

【就職希望地】 宮崎市内7名, 都城1名,
日向・延岡1名, 西都・高鍋1名

【連絡先】 〒889-1605

宮崎市清武町加納丙1415番地

TEL: 0985-85-0146

現代ビジネス科 教授 黒野 伸子
キャリア教育センター センター長 河野 豪

県 医 の 動 き

(5月)

1	日産婦医会性教育指導セミナー全国大会実行委員会 (Web会議)(上山理事)
7	鹿児島県医師会との倫理審査に関する打合せ (Web会議)(荒木常任理事他)
8	日医財務委員会(Web会議)(小牧副会長) 県保健医療福祉調整本部会議(金丸副会長他) 県産婦人科医会常任理事会(嶋本常任理事他)
9	医師協理事会(河野理事長他) 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ 研修会(Web会議)(吉見常任理事)
10	県内科医会総会・学術講演会(Web会議)(玉置常任理事)
11	全国有床診療所協議会理事会(Web会議)(会長)
12	広域災害救急医療情報システム(EMIS)にか かる事務局説明会(Web会議) 広報委員会(荒木常任理事他) 産業医部会理事会(Web会議)(会長他)
13	第3回全理事協議会(会長他) 県医師連盟総決起大会(河野委員長他)
14	(東京)自民党議員連盟「国民医療を守議員の 会総会」(金丸常任執行委員) 支払基金審査運営協議会(会長)
15	県医療審議会及び県医療介護推進協議会(会長他) 在宅医療協議会役員会(Web会議)(市来常任理事他)
16	(日医)医師会立看護師等養成所会議(都道府 県医師会医療関係者担当理事連絡協議会) (赤須常任理事) 県警察医会協議会(Web会議)(玉置理事)
17	(福島)男女共同参画フォーラム(金丸副会長他) 産業医部会総会・研修会(TV会議)(小牧副会長他)
18	(福岡)レジナビフェア福岡(大塚常任理事) (東京)全国有床診療所協議会理事会・臨時社 員総会・有床診療所医師連盟執行委員会(会長) 県小児科医会総会・春季学術講演会(高木常任理事)
19	広報委員会(荒木常任理事他) 組織強化・将来構想委員会小委員会(Web会議) (小牧副会長他)
20	(日医)都道府県医師会会長会議(会長) サイバーセキュリティ連携協定式(小牧副会長) (日医)日医連拡大選挙対策会議(河野委員長他) (日医)かまやちさとし決起大会(河野委員長他) (東京)参議院議員自見はなこ政策セミナー (河野委員長他)

21	(都城市)都城市郡医師会病院創立40周年記念 並びに心臓・脳血管・透析センター完成祝賀会 (会長)
22	県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療 養費審査委員会(大塚常任理事) 日医有床診療所委員会(Web会議)(会長) 県認知症疾患医療センター合同会議(Web会議) (吉見常任理事)
23	県医監事監査(会長他) (日医)都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会 (Web会議)(落合常任理事他) (熊本)九州各県保健医療福祉主管部長・九州 各県医師会長合同会議(金丸副会長) 医師協会計監査(河野理事長他)
24	自民党県連定期大会(河野委員長他) 河野しゅんじ県政報告会(河野委員長)
26	在宅医療研修会企画小委員会(Web会議) (吉見常任理事)
27	医師協理事会(河野理事長他) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会(嶋本常任理事) 医師協理事・運営委員合同協議会(河野理事長他) 第4回全理事協議会(会長他) 各郡市医師会長協議会(会長他)
28	労災診療指導委員会・労災部会理事会 (赤須常任理事他) (西諸)西諸医師会との意見交換会(会長他)
29	県保険者協議会 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会 (吉見常任理事) 県中小企業団体中央会創立70周年記念式典 (吉田副理事長) 県内科医会会誌編集委員会(玉置常任理事) 県整形外科医会理事会(Web会議)
30	社会を明るくする運動宮崎県推進委員会(金丸副会長) 県医療勤務環境改善支援センター運営協議会 (池井常任理事他) 学校医部会理事・評議員会(Web会議)(会長他) 県有床診療所協議会役員会(Web会議)(佐々木理事)
31	死体検案研修会(会長他)

ドクターバンク情報
(無料職業紹介所)

令和 7 年 5 月 1 日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。
現在、下記のとりの情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。
お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。
また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 7人

希望診療科目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	1	0	1
外 科	1	1	0
整 形 外 科	1	1	0
放 射 線 科	1	0	1
総 合 診 療 科	1	0	1
産 婦 人 科	1	0	1
老 健	1	0	1

2. 斡旋成立件数 107人

	合 計
令和7年度(4/1～5/1)	3
平成16年度から累計	107

3. 求人登録 107件 293人

(人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	91	68	23
外 科	22	19	3
整 形 外 科	19	16	3
精 神 科	14	12	2
脳 神 経 外 科	2	2	0
循 環 器 科	14	11	3
消 化 器 内 科	24	18	6
麻 酔 科	6	6	0
眼 科	10	6	4
放 射 線 科	9	9	0
小 児 科	4	3	1
呼 吸 器 科	0	0	0
在 宅 診 療	2	2	0
総合診療科・内科	11	7	4
脳 神 経 内 科	2	2	0
呼 吸 器 内 科	11	7	4
リハビリテーション科	5	3	2
救 命 救 急 科	7	4	3

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
消 化 器 外 科	4	3	1
乳 腺 外 科	2	2	0
健 診	3	3	0
泌 尿 器 科	2	2	0
産 婦 人 科	0	0	0
検 診	0	0	0
皮 膚 科	0	0	0
婦 人 科	1	1	0
呼 吸 器 外 科	0	0	0
人 工 透 析	12	8	4
リウマチ科	0	0	0
臨床病理科	0	0	0
形 成 外 科	1	1	0
診療科目不問	7	3	4
緩 和 ケ ア	0	0	0
内分分泌糖尿病内科	6	4	2
そ の 他	2	2	0
合 計	293	224	69

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	不問	1	非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	整,リハ,神内,循内,脳外	5	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,緩和	5	常勤・非常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精	1	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	1	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内,放	6	常勤
190087	公社)宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	社医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,外,呼内,消内,糖内	5	常勤・非常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	社福)介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	生協)宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診	13	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外,形外,麻	3	常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放	2	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透 (いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,外,リハ (いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	整,リハ	2	非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診,内,消内,呼内,整 (いずれか)	2	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	医)マナビヤ マナビヤ在宅クリニック「un」	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医)りっか会 ビア・ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230231	認N)ホームホスピス宮崎	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230233	独)宮崎江南病院	宮崎市	呼内,総診,糖内	6	非常勤
230235	医)青葉会 のざきクリニック	宮崎市	内	5	常勤・非常勤
230240	医)順養会 海老原病院	宮富町	内	1	常勤
230241	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	1	常勤
230242	さくらメンタルクリニック	宮崎市	精	1	常勤
230243	医)よしき会 どんぐりこども診療所	宮崎市	小	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内,消外,麻,循内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	消内	1	常勤
190092	一社)都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤
230181	医)社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブ ベテスダクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230208	医) 社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社) 藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	整,内	3	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
160034	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内,健診	3	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	一社) 延岡市医師会病院	延岡市	内,消内,消外,放	4	常勤
210109	一社) 延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精,内	2	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	2	常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外(いずれか)	1	常勤
230219	財) 延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
230238	医) en. 縁・在宅クリニック	延岡市	不問	2	常勤・非常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	3	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医) おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内,呼内,糖尿内	4	非常勤
230232	医) 社団弘文会 松岡内科医院	日向市	透	1	非常勤
230239	稲原眼科医院	日向市	眼	1	非常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,外,麻,健診	4	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透,循内	6	常勤
230204	医) 昇山会 上山医院	西都市	内,整(いずれか)	1	非常勤
230234	社医) 暁星会 三財病院	西都市	内	1	常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内,リハ	3	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅,眼	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内,呼内	6	常勤
230149	社医) 介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	内,整	4	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230221	医) 文誠会 なんごう病院	日南市	内,外,消内	6	常勤・非常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
230236	医) 和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	循内,内,外	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	放,内,総診,麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外,内,総診	6	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	内,眼	3	常勤・非常勤
230167	医) 介護老人保健施設 さわやかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
230237	医) 東陽会 整形外科前原病院	小林市	整	1	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,眼,小	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外(いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和7年5月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番 土地のみ: 2,022.17㎡ (612.77坪) 所有者: 児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地: 2,280.83㎡ (691.16坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり (20台) 所有者: 西都市西児湯医師会員 図師医院跡
	③ 延岡市無鹿町1丁目710 土地: 1,654.58㎡ (501.38坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり (50台) 所有者: (医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
2. 譲渡又は賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地: 4,449㎡ (1,348.18坪) 建物: 鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台) 所有者: 児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 都城市東町10街区18号 土地: 614.18㎡ (186.11坪) 建物: 鉄筋コンクリート造3階建 1階 324.30㎡ 2階 322.11㎡ 3階 322.11㎡ 計 968.52㎡ (293.49坪) ※駐車場あり (3台) 別に隣接病院駐車場あり (応相談) ※賃貸部分は, 2階, 3階 (グループホームやすらぎ) 所有者: 都城市北諸県郡医師会員 (医) 与州会 柳田病院
	② 宮崎市大字本郷南方字榎田2541番地1 土地: 750.44㎡ (227.40坪) 建物: 木造スレートぶき2階建 1階 255.27㎡ 2階 73.50㎡ 計 328.77㎡ (99.62坪) ※駐車場あり (15台) 所有者: 宮崎市郡医師会員 (医) 健心会 滝口内科医院 (旧) のぞみ医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)
TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179
E-mail: isikyout@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

き
り
と
り
せ
ん

お名前：

ご所属：

TEL：

FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和7年5月29日

6			月		
1	日		19	木	14:00 (日医) 日医広報委員会 18:30 病院部会・医療法人部会定時総会
2	月	19:00 県糖尿病対策推進会議小幹事会	20	金	
3	火	14:30 県学校保健会理事・評議員会 15:30 学校保健及び学校安全に関する文 部科学大臣表彰及び県教育庁表彰 審査会 19:00 第1回理事会 終了後 第5回全理事協議会	21	土	8:30 (北海道) 日本プライマリ・ ケア連合学術大会(Web会議) 18:00 (東京) 九州ブロック日医代 議員連絡会議
			22	日	8:30 (北海道) 日本プライマリ・ ケア連合学術大会(Web会議) 9:00 (日医) 九州ブロック日医代 議員連絡会議 9:30 (日医) 日医定例代議員会 12:00 県産婦人科医会J-CIMELS講習会
4	水	13:30 日医公衆衛生委員会(Web会議) 18:30 県アイバンク協会理事会(Web会議)	23	月	19:00 広報委員会
5	木		24	火	14:30 県国保等はり、きゅう及びあ ん摩マッサージ療養費審査 委員会 18:30 医師協理事会(Web会議) 19:00 医師協理事・運営委員合同協議会 (Web会議) 終了後 第6回全理事協議会(Web会議)
6	金	17:30 宮大医学部生対象マッチング登録 説明会&県内基幹型臨床研修病院 合同説明会			
7	土	16:00 (熊本) 九医連常任委員会 17:00 (熊本) 九州ブロック日医代議員連絡会議	25	水	13:30 保育サポート会員スキルアッ プ研修会・交流会 15:00 労災診療指導委員会・労災部 会理事会 15:00 県がん診療連携協議会
8	日		26	木	14:00 県健康づくり協会評議員会 18:00 九州地方社会保険医療協議会 宮崎部会 19:00 医師国保組合定例事務監査
9	月	14:00 県健康づくり協会理事会 14:00 医療機関の安全に関する協定締結式 19:00 日産婦学会専門医制度宮崎地方委員会	27	金	
10	火	19:00 第2回常任理事協議会	28	土	12:30 県認知症高齢者グループホーム連 絡協議会理事会 14:00 県認知症高齢者グループホーム連 絡協議会総会・全体研修会 17:00 宮崎大学医学部精神科平野嗣教 授就任祝賀会
11	水	17:00 宮大医学部地域枠全体ミーティング 19:00 広報委員会	29	日	11:00 (東京) レジナビ東京
12	木	13:30 県移植推進財団評議員会 14:00 (千葉) 全国国保組合協会通常総会 19:00 県産婦人科医会常任理事会	30	月	19:00 園医部会理事会(Web会議)
13	金				
14	土	15:30 県医師協同組合通常総代会 16:00 県医師連盟執行委員会 16:40 県医師会定例代議員会 17:30 県医師会総会			
15	日				
16	月				
17	火				
18	水	13:30 宮大経営協議会 16:00 支払基金審査運営協議会 19:00 (日向市) 日向市東臼杵郡医師会 との意見交換会			

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和7年5月29日

7			月		
1	火	13:30 県歯科保健推進協議会 18:30 第7回全理事協議会 19:00 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会	17	木	9:00 女性医師等保育支援サービスシステム事業サポート会員養成講座 19:00 医師国保組合通常組合会
2	水		18	金	
3	木	13:00 全国医師会産業医協会連絡協議会 (Web会議)	19	土	(秋田) 全国有床診療所協議会
		13:30 県総合計画審議会	20	日	(秋田) 全国有床診療所協議会
		16:30 (日医) 日医医業経営検討委員会	21	月	(海の日)
		19:00 医師国保組合理事会	22	火	
4	金		23	水	15:00 日医有床診療所委員会 (Web会議) 19:00 広報委員会
5	土	13:00 (福岡) 九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会	24	木	14:30 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会
		17:00 (福岡) 九医連常任委員会 17:30 (福岡) 九州医連連絡会常任執行委員会			
6	日	9:00 (福岡) 九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会	25	金	
7	月		26	土	15:00 (佐賀) 九州学校検診協議会専門委員会
8	火				15:00 (埼玉) 日産婦医会性教育指導セミナー全国大会
9	水	9:00 女性医師等保育支援サービスシステム事業サポート会員養成講座 15:00 日医救急災害医療対策委員会 (Web会議)			15:00 日医未来医師会ビジョン委員会 (Web会議)
					16:00 (佐賀) 九医連常任委員会 17:00 (佐賀) 九州学校検診協議会役員会 18:00 (佐賀) 九州各県医師会学校保健担当理事者会
10	木	19:00 県産婦人科医会常任理事会	27	日	9:00 (佐賀) 九州学校検診協議会年次大会
11	金	13:30 県地方独立行政法人評価委員会 18:30 勤務医部会会計監査 19:00 勤務医部会理事会			9:00 (佐賀) 九プロ学校保健・学校医大会
					9:15 (埼玉) 日産婦医会性教育指導セミナー全国大会
12	土	県整形外科医会総会 労災部会総会 15:30 県外科医会理事会 16:00 県外科医会総会 16:00 県専門研修プログラム合同説明会 17:00 県外科医会・県整形外科医会・労災部会合同学会			12:00 (佐賀) 九医連学校医会評議員会
13	日	9:00 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会	28	月	
14	月	19:00 広報委員会	29	火	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18:30 医師協理事会 (Web会議) 19:00 医師協理事・運営委員合同協議会 (Web会議)
15	火	19:00 第3回常任理事協議会			終了後 第8回全理事協議会 (Web会議)
16	水	15:00 (日医) 日医地域医療対策委員会 16:00 支払基金審査運営協議会 19:00 (日南市) 南那珂医師会との意見交換会			
			30	水	15:00 労災診療指導委員会・労災部会理事会
			31	木	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
南那珂医師会生涯 教育医学会 (Web講習会) 6月5日(木) 19:00～20:00 南那珂医師会館2 F大ホール ※受講は現地また はWeb	チルゼパチド(マンジャロ)の有用性を検証する 内科阿部医院 院長 阿部 克成	76 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 イーライリリー(株) 田辺三菱製薬(株)
延岡医学会学術講 演会 (Web講習会) 6月6日(金) 19:00～20:00 延岡市コワーキン グスペース ※受講は現地また はWeb	循環器診療におけるGLP-1受容体作動薬の位置付け 県立延岡病院 循環器内科 主任部長 心臓脳血管センター長 山本 展誉	76 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 ノボルディスクファーマ(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
西都市西児湯内科 医会学術講演会 6月6日(金) 19:00～20:00 ホテルプリムロー ズ西都	冠動脈疾患における抗血栓マネジメント ～P-CABの有用性を考える～ 宮崎大学医学部 内科学講座 循環器・腎臓内科学分野 教授 海北 幸一	52 (1.0)	◇主催 西都市西児湯医師会内科医会 ◇共催 ※西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687 大塚製薬(株) 武田製薬工業(株)
日向市東臼杵郡医 師会学術講演会 6月7日(土) 16:00～17:00 日向市東臼杵郡医 師会館	さまざまな依存症とその対応 ～アルコール，ギャンブルから，ゲーム，オーバード ーズ，リスクまで～ 埼玉県立精神医療センター 副院長 成瀬 暢也	12 (1.0)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 日向市東臼杵郡医師会内科医会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
第92回宮崎県精神 科医会懇話会 6月7日(土) 17:30～19:00 アートホテル宮崎 スカイタワー3F	致命的疾患、特にがん患者に対する精神的ケア ～抑うつ、不安、不眠、せん妄、遺族への対応～ 名古屋市立大学医学研究科 精神・認知・行動医学分野 教授 明智 龍男	81 (1.5)	◇主催 ※宮崎県精神科医会 ☎0982-37-0126 ◇共催 エーザイ(株)
都城市北諸県郡医 師会学術講演会 (Web講習会) 6月10日(火) 19:00～20:15 未来創造ステーショ ン会議室1 ※受講は現地また はWeb	かかりつけ医によるCKD診療のポイント ～早期治療介入と尿検査の重要性を中心に～ 香川大学医学部 循環器・腎臓・脳卒中内科 講師 祖父江 理	73 (1.0)	◇主催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ◇共催 小野薬品工業(株) アストラゼネカ(株)
宮崎市郡内科医会 学術講演会 (Web講習会) 6月16日(月) 19:00～20:20 MRT micc 3F 「エメラルドホール」 ※受講は現地また はWeb	肥満症治療Update 宮崎大学医学部 内科学講座 血液・糖尿病・内分泌内科学分野 講師 上野 浩晶 ----- 循環器疾患における肥満症治療介入への期待 宮崎大学医学部 内科学講座 循環器・腎臓内科学分野 准教授 松浦 祐之介	23 (0.5) 23 (0.5)	◇主催 宮崎市郡内科医会 ◇共催 ノボルディスクファーマ(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
令和7年度医療安 全管理講演会 6月18日(水) 17:00～18:15 宮崎大学医学部附 属病院臨床講義室 205	患者安全の全体像と課題 名古屋大学医学部附属病院 副病院長・患者安全推進部 教授 長尾 能雅 専門医共通講習－医療安全（必修）：1単位	7 (1.0)	◇主催 宮崎大学医学部附属 病院医療安全管理部 (連絡先) 宮崎大学医学部附属病院医 療人育成課卒後臨床研修係 ☎0985-85-1864
宮崎県医師会産業 医研修会 6月18日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	第14次労働災害防止計画の概要と重要ポイント 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治 生涯研修の更新研修会：2単位	6 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
第19回宮崎心臓リハビリテーションセミナー (Web講習会) 6月19日(木) 18:20～20:00 KITENビル中会議室 ※受講は現地またはWeb	Stop!心不全パンデミック, Stop!心不全リスクファクター～時間軸を意識した心不全診療の最適化～ 愛知医科大学医学部 内科学講座 循環器内科 教授 天野 哲也 他	42 (1.5)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 日本ベーリンガーインゲルハイム(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
都城市北諸県郡医師会内科医会学術講演会 (Web講習会) 6月19日(木) 19:00～20:00 都城ロイヤルホテル ※受講は現地またはWeb	COVID19診療up to date ～抗ウイルス薬による治療意義を考える～ 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 教授 宮崎 泰可	8 (1.0)	◇主催 都城市北諸県郡内科医会 ◇共催 塩野義製薬(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711
宮崎県医師会産業医研修会 6月19日(木) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	化学物質管理者制度と産業医 ～化学物質の性状に関連の強い労働災害～ 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和7年度心臓検診一次検討会(後期) 6月20日(金) 19:00～21:00 日向市東臼杵郡医師会館	症例検討会 なかむら内科循環器内科 院長 中村 剛之	43 (2.0)	◇主催 日向市東臼杵郡医師会心臓検診班 ◇後援 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
延岡医学会学術講演会 6月20日(金) 19:00～20:00 エンシティホテル延岡	超高齢化社会における抗血栓管理 ～消化管出血を抑制することの重要性～ 宮崎大学医学部 内科学講座 循環器・腎臓内科学分野 教授 海北 幸一	50 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 大塚製薬(株) 武田薬品工業(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
第90回宮崎整形外科懇話会 6月21日(土) 17:30～18:30 宮崎大学医学部臨床講義室205教室 参加費:1,000円	新しい内視鏡UBEが脊椎内視鏡手術を一般化する 聖隷浜松病院 整形外科 佐々木 寛二	60 (1.0)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 旭化成ファーマ(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
宮崎市郡内科医会学術講演会 (Web講習会) 6月23日(月) 19:00～20:00 大塚製薬(株)宮崎出張所 ※受講はWebのみ	認知症周辺症状の現状と薬物療法(仮) 野崎病院 精神科 倉増 亜紀 ----- 認知症診療における薬物療法の功罪 野崎病院 院長 石田 康	29 (0.5) 29 (0.5)	◇主催 宮崎市郡内科医会 ◇共催 大塚製薬(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
第194回宮崎心臓病研究会 (Web講習会) 6月24日(火) 18:50～20:10 宮崎観光ホテル東館2階「初雁の間」 ※受講は現地またはWeb	超高齢社会における包括的心不全診療 久留米大学医学部 内科学講座 心臓血管内科学部門 主任教授 福本 義弘 他	10 (1.0)	◇主催 ※宮崎心臓病研究会 ☎0985-77-9101 ◇共催 バイエル薬品(株)
宮崎県医師会産業医研修会 6月25日(水) 19:00～21:00 串間市民病院会議室	作業現場における暑熱環境対策 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会:2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 6月27日(金) 14:00～16:00 宮崎県医師会館	職場環境測定結果を正しく理解するために 産業保健相談員 宮崎大学国際連携機構・国際連携センター 客員教授 黒田 嘉紀 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県HPVワクチン セミナー (Web講習会) 6月27日(金) 19:00～20:00 KITENビル8F 小会議室1 ※受講はWebのみ	HPVワクチンのエビデンス ～年齢・性別によらない接種意義～ 佐賀大学医学部附属病院 感染制御部 特任准教授 的野 多加志 ----- HPVワクチン定期接種の重要性と宮崎県での取り組み 宮崎県立看護大学 専門基礎分野 教授 川越 靖之	11 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 宮崎県小児科医会 ◇共催 宮崎県産婦人科医会 ※MSD(株) ☎0985-28-9496
宮崎県医師会産業 医研修会 7月2日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	早期離職を防ぎ新人が輝く新規入职者に対する研修の ポイント 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	10 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和7年度心臓検 診二次検討会 (後期) 7月4日(金) 19:00～21:00 日向市東臼杵郡医 師会館	症例検討会 なかむら内科循環器内科 院長 中村 剛之	44 (2.0)	◇主催 日向市東臼杵郡医 師会心臓検診班 ◇後援 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222
宮崎県医師会産業 医研修会 7月9日(水) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	早期離職を防ぎ新人が輝く新規入职者に対する研修の ポイント 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	10 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
令和7年度宮崎県 外科医会・宮崎県 整形外科医会・宮 崎県医師会労災部 会合同学会 (Web講習会) 7月12日(土) 17:00～18:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb	脊髄損傷の診断と治療 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 整形外科科学分野 教授 亀井 直輔	57 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会労災部会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県外科医会 宮崎県整形外科医会
宮崎県医師会産業 医研修会 7月17日(木) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医 師会館	化学物質管理者制度と産業医 ～化学物質の性状に関連の強い労働災害～ 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
精神科領域におけ る感染症/不眠症 治療を考える会 (Web講習会) 7月22日(火) 19:00～20:30 ホテルJALシティ 宮崎2F「オルソ」 ※受講は現地また はWeb	精神科病院におけるCOVID-19診療 up to date ～抗ウイルス薬による治療意義を考える～ 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 教授 宮崎 泰可 ----- 不眠症治療の新たな選択肢 ～ダリドレキサントをどのように臨床へ活かすべきか～ 久留米大学 学長 内村 直尚	8 (0.5) 20 (0.5)	◇主催 宮崎県精神科医会 ◇共催 ※塩野製薬(株) ☎0985-27-1041
宮崎県医師会産業 医研修会 7月23日(水) 14:00～16:00 宮崎県医師会館	職場のメンタルヘルスとストレスチェック制度 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 7月23日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	事業場のゲートキーパー活動を支援するために 産業保健相談員 産業カウンセラー 人材科学研究所 代表 工藤 智徳 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
令和7年度第1回 宮崎県緩和ケア研 修会 (Web講習会) 7月26日(土) 9:00～17:30 宮崎大学医学部プ レゼンテーション ホール ※受講は現地また はWeb	e-learningの復習・質問 宮崎大学医学部附属病院 精神科 医師 船橋 英樹 他	15 (0.5)	◇主催 ※宮崎大学医学部附属病院 ☎0985-85-1510
	コミュニケーション 宮崎医療センター病院 泌尿器科・緩和ケア 医師 山崎 浩司 他	4 (1.5)	
	全人的苦痛に対する緩和ケア 宮崎医療センター病院 消化器内科 医師 矢田 崇純 他	10 (1.5)	
	療養場所の選択と地域連携 和田病院 緩和ケア内科 医師 丸田 望 他	13 (1.5)	
第37回ひむか骨関 節・脊椎脊髄疾患 セミナー (Web講習会) 7月26日(土) 15:30～17:30 KITENビル 8 階 大会議室 ※受講は現地また はWeb	頸椎症に関する病態と治療のUp-to-date ～手術治療から保存療法まで～ 東京科学大学 医歯学総合研究科 整形外科学分野 准教授 平井 高志	63 (1.0)	◇主催 ひむか骨関節・脊椎 脊髄疾患セミナー ◇共催 ※第一三共(株) ☎070-1377-6776
	腰痛，神経障害性疼痛に対する臨床・疫学研究 ～健康寿命延伸のために～ 名古屋大学医学系研究科 整形外科学/リウマチ学 主任教授 今釜 史郎	60 (1.0)	
第96回宮崎大学眼 科研究会 7月26日(土) 16:10～19:00 宮崎大学錦本町キャン パスわくわくセン ター 参加費：2,000円	宮崎大学医学部附属病院 眼科専門外来の症例から 宮崎大学医学部附属病院 眼科 医員 梶原 夏輝 他	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎大学医学部感覚運 動医学講座眼科学分野 ☎0985-85-2806
	これからの斜視診療 浜松医科大学医学部 客員教授 佐藤 美保	36 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 7月30日(水) 14:00～16:00 宮崎県医師会館	職場でみられるうつ病とその対応 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子 生涯研修の専門研修会：2単位	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 7月30日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	企業における受動喫煙防止対策と禁煙支援 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 7月31日(木) 14:00～16:00 宮崎県医師会館	有害化学物質の管理 産業保健相談員 宮崎大学国際連携機構・国際連携センター 客員教授 黒田 嘉紀 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月7日(木) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	化学物質管理者制度と産業医 ～化学物質の性状に関連の強い労働災害～ 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月13日(水) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	企業における受動喫煙防止対策と禁煙支援 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月20日(水) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	事業場のゲートキーパー活動を支援するために 産業保健相談員 産業カウンセラー 人材科学研究所 代表 工藤 智徳 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
第62回宮崎救急医学 学会 8月23日(土) 14：40～15：40 千代田病院 参加費：1,000円	南海トラフ巨大地震から宮崎の医療を守る(仮) 宮崎大学医学部 病態解析医学講座 救急・災害医学分野 教授 宮崎大学医学部附属病院 救命救急センター長 落合 秀信	14 (1.0)	◇主催 宮崎救急医学会 ◇共催 日向市東臼杵郡医師会 日向市東臼杵郡医師会内科医会 (連絡先) 千代田病院 ☎0982-52-7111
宮崎県医師会産業 医研修会 8月27日(水) 14：00～16：00 宮崎県医師会館	職場でのアルコール依存症に対する対策 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月27日(水) 19：00～21：00 宮崎県医師会館	今日のうつ病の現状と対策 産業保健相談員 中村クリニック 院長 中村 究 生涯研修の専門研修会：2単位	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

5月のベストセラー（宮崎県）

集計：2025年5月1日～5月23日

1	カフネ	阿 部 暁 子	講 談 社
2	私が見た未来 完全版	た つ き 諒	飛 鳥 新 社
3	じい散歩	藤 野 千 夜	双 葉 文 庫
4	開運はおうちが8割!引き寄せるすごい「家」	ケルマデック×ひすいこたろう	KADOKAWA
5	頭のいい人だけが解ける論理的思考問題	野 村 裕 之	ダイヤモンド社
6	#真相をお話しします	結 城 真 一 郎	新 潮 文 庫
7	知りたいこと図鑑	み つ け	KADOKAWA
8	人は話し方が9割	永 松 茂 久	す ば る 舎
9	一次元の挿し木	松 下 龍 之 介	宝 島 社 文 庫
10	禁忌の子	山 口 未 桜	東 京 創 元 社

診療メモ



骨粗鬆症

ふなもと整形外科 船 元 太 郎

はじめに

「骨粗鬆症」という言葉は広く認知されていますが、予防、治療ともに不十分な疾患のひとつです。骨粗鬆症による骨折は「合併症」と考えられています。合併症である骨折によって、骨粗鬆症に初めて気付かれることも少なくありません。日本では人口の高齢化にともない、骨粗鬆症患者数も増加していると考えられ、1,590万人（男性410万人、女性1,180万人）との推計もあります。自覚症状に乏しいため運動器を扱う整形外科を受診するとは限らず、医療面接による脆弱性骨折の病歴だけでも診断できますので多くの診療科で診療してほしい疾患です。

骨粗鬆症の問題点

骨粗鬆症はロコモの重要な疾患であり、介護リスクが高い疾患といえます。サルコペニアやフレイルとも関連しており、運動器にとどまらない全身的な問題です。生活習慣病による心血管イベントがQOLや生命予後に影響するように、骨粗鬆症による骨折イベントはQOLや生命予後にも関与することが明らかとなってきました。骨粗鬆症は症状に乏しいことが診断や治療の遅れにつながり問題を大きくしていると考えられます。また、骨粗鬆症によって脆弱性骨折を来すと次の骨折リスクが増大し、骨折が増えるごとにADLや生命予後が低下することが知られています。この「骨折の連鎖」を防ぐため国際骨粗鬆症財団（IOF）では2回目の骨折を予防すべく「STOP AT ONE」活動や骨折リエゾンサービス（FLS）を展開しています。

骨粗鬆症のリスクファクター

骨粗鬆症には低骨密度、年齢、性別（女性）、骨粗鬆症や骨折の家族歴、人種、早期閉経、関節リウマチなどの疾患、またステロイドなど特定の薬剤がリスクファクターとして知ら

れています。またカルシウムやビタミンDなどの摂取不足、運動不足、低体重（低BMI）、喫煙や過度のアルコール摂取などの生活習慣も関与しています。

骨粗鬆症の診断

骨粗鬆症の診断には骨密度検査装置が有用ですが、設置している施設は多くないのが現状です。しかしながら骨粗鬆症の診断においては骨密度検査装置を使用しなくても可能なものがあります。脆弱性骨折の既往は骨粗鬆症の診断には極めて重要な情報であり、椎体骨折と大腿骨近位部骨折の既往はそれだけで骨粗鬆症の診断が可能です。これらの既往のある患者さんには直ちに骨粗鬆症と診断し治療を開始します。骨折は通常疼痛を伴うものですが、椎体骨折では無症状で経過している人もいます。一時期「いつのまにか骨折」とテレビCMで流れていた骨折です。この診断には胸椎、腰椎の単純X線側面像が有用です。椎体骨折の診断には各椎体の形態を評価するSQ法が臨床の現場で役立ちます（図1）。X線装置は多くの医療機関に設置されていますので、この図を活用して椎体骨折の有無を評価し脆弱性骨折、骨粗鬆症の診断に役立てていただきたいと思います。

骨粗鬆症の治療

骨粗鬆症の治療は生活習慣に左右されることがわかってきています。すなわち、喫煙や過度の飲酒などの生活習慣の改善、カルシウムの摂取や運動習慣の確立が望まれます。カルシウムの摂取について日本人の推奨量は欧米人より少なく、成人男性で700～800mg、女性では650mgとされています。しかしながら現状のカルシウム摂取量は男女とも500mg前後であり不足しています。またビタミンDがカルシウムの吸収を促進しますが、大学病院の骨粗鬆症患者

を対象に測定したところ、充足者はわずか4%しかいませんでした。カルシウムとビタミンD摂取の指導は重要な点です。骨粗鬆症薬には骨形成薬と骨吸収抑制薬があり、骨吸収抑制薬のビスフォスフォネート製剤が第一選択薬となっています。薬剤の特徴や選択については今年改訂されるガイドラインを参考にしてください。ちなみに各薬剤の臨床試験ではビタミンDとカルシウムを補充して実施されていることを付記いたします。

女性の骨粗鬆症

女性の骨粗鬆症患者数は男性の約3倍、60歳以上の女性では3人に1人が骨粗鬆症を有していると考えられています。女性ホルモンは骨形成、骨密度維持に働くため、閉経後女性ホルモンの分泌が抑制されると骨代謝バランスが骨吸収に傾き骨量が減少し骨粗鬆症リスクが高まります。女性の人生を考えると閉経は避けられない現象ですから、閉経までにどれだけ骨量を維持しておくかが重要となります。骨量の最大値（peak bone mass；PBM）を迎える10代後半までに積極的な情報提供を行い将来の骨粗鬆症、骨折リスクを低減させることが必要です。本人のみでなく保護者への情報提供が有用と考えられます。

出産後に椎体骨折を来す症例に時々遭遇します。出産後の椎体骨折を解析した報告では骨折

を来したのは全例母乳育児の症例で、母乳育児で骨吸収が亢進すること、低骨密度であることが明らかとなっています。出産前の骨密度、ひいては10代後半のPBMがいかに重要であるかが示唆されます。

男性の骨粗鬆症

男性では男性ホルモンが骨形成に働いており、加齢とともに分泌量が減少すると骨量が減少していきます。男性の骨粗鬆症有病率は女性より低いために軽視されがちですが、本邦の男性骨粗鬆症患者数は410万人と推計されており、決して少ないわけではありません。男性の骨粗鬆症性骨折では介護リスクが高まるとの報告もあります。骨粗鬆症検診は女性のみを対象にしている自治体がほとんどであり、スクリーニング体制は十分とはいえません。このような背景のためか、男性では骨折後に骨粗鬆症と診断される症例が多い印象があります。男性では多職種が協同して2回目の骨折を予防するFLS活動が女性以上に重要と考えられます。

最後に

2025年には10年ぶりとなる骨粗鬆症のガイドラインが改訂されます。新たな薬剤、知見をもとに多くの診療科に有用なものになっていると思いますので、ぜひ手にとって日々の診療にお役立てください。

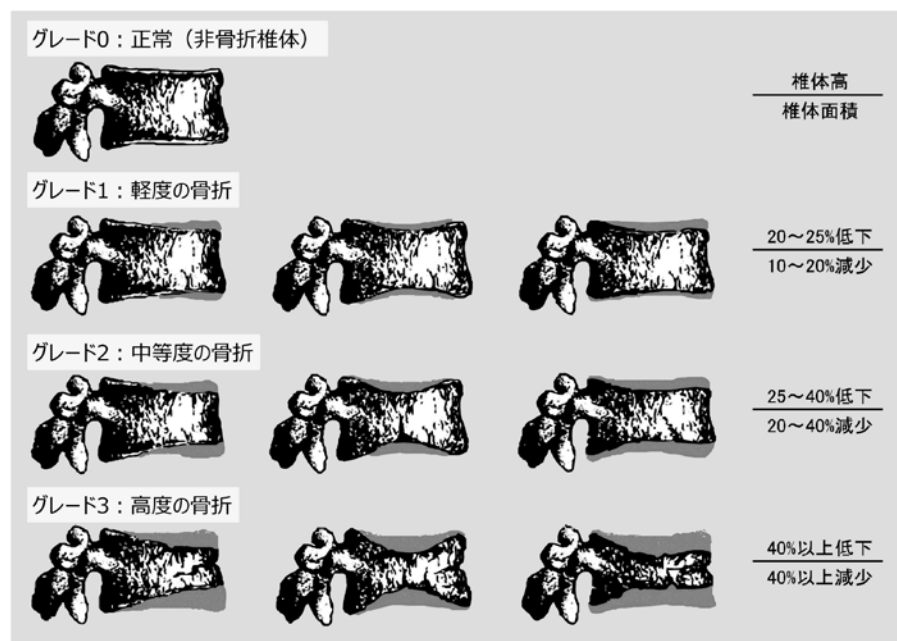


図1. 椎体変形の半定量的 (SQ) 評価法

骨折による椎体変形の程度を、隣接椎体と比較した場合の椎体高（前縁高、中央高または後縁高）または椎体面積の減少率から判定する。

診療メモ

宮崎県脳卒中・
心臓病等総合支援センター事業

宮崎市 宮崎県脳卒中・心臓病等総合支援センター 脳卒中部門

た
田
おお
大むら
村
た
田みつる
充
はじめ
元

目 的

脳卒中、心臓病その他循環器病は我が国の主要な死亡原因であり、両者を合わせると悪性新生物に次ぐ死亡原因となっています（2021年人口動態統計 厚生労働省）。要介護状態の原因に占める割合は脳血管障害が16.1%、心疾患が4.5%（2019年国民生活基礎調査）となっており、いずれも主要な原因です。宮崎県においても2022年の死亡原因のうち心疾患が第2位、脳血管疾患は第4位となっており、両疾患が県民の生命や健康に重大な影響を及ぼしています。

2018年12月に「脳卒中循環器病対策基本法」（健康寿命の延伸などを図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法）が成立し、都道府県ごとに循環器病対策推進基本計画が策定されました。宮崎県でも健康寿命の延伸、循環器病の年齢調整死亡率の減少を目指す目的で、2024年3月に「第2期宮崎県循環器病対策推進計画」を策定し、さまざまな取組みが行われつつあります。

これに関連し、2024年に厚生労働省の「脳卒中心臓病等総合支援センターモデル事業」に宮崎大学医学部附属病院が採択され、同年11月よりホームページを公開し本格的に「宮崎県脳卒中・心臓病等総合支援センター事業」を開始いたしました。

脳卒中・心臓病等総合支援センターについて

脳卒中の症状、治療法、後遺症に対するリハビリテーション、再発や発症予防、退院後の日常生活の送り方、仕事と治療の両立、治療費等経済的問題など、脳卒中に罹患された患者や家族はさまざまな問題を抱えることになります。前述の循環器病対策推進計画にも「脳卒中患者および家族への情報提供や相談支援」が明記され対応が必要です。それを具体化するため各医療機関内に「患者支援センター」や「脳卒中相談窓口」が存在しますが、それらを統括し、医療機関や行政機関との連携を取り持つハブ機関として「脳卒中・心臓病等総合支援センター」が各都道府県に設立されつつあります（2025年3月時点で全国37都道府県に設置済）。

当センターでは脳卒中や心臓病の患者さんやご家族の悩みや困りごとを気軽にメールや電話でお問合せいただける相談窓口を設けております。頂いた相談内容は担当の医師、看護師、薬剤師、医療相談員、リハビリテーション専門職員、管理栄養士、臨床心理士など多職種の専門家で吟味し回答を行い、問題解決を図ります。なお宮崎県内すべての相談内容に対応できませんので、当センターに届いた相談内容は地元医療機関の患者相談支援センターとも共有させていただき、具体的な問題解決や支援は現地で受けていただくこともあるかと思っておりますので、その際は何卒ご協力をお願いいたします。

脳卒中相談窓口について

患者さんやご家族が抱える脳卒中に関するさまざまな問題に対して、多職種が協力して助言や支援を行っております。

1. 急性期医療機関から直接自宅退院する患者さんやご家族に対する相談・支援
2. 回復期や生活期の医療機関に転院する患者さんやご家族に適切な情報提供を行い、必要に応じて回復期や生活期の患者サポートセンターなどにつなぐ
3. 障害者就労・生活支援センター、地域包括支援センターなどと協力



各一次脳卒中センターに設置しておりますので、ご利用下さい

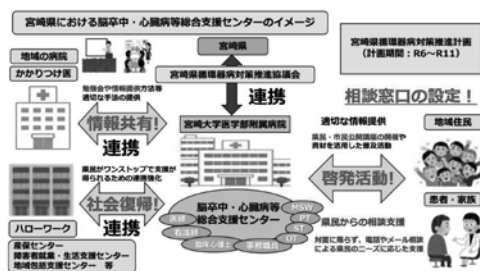
脳卒中・心臓病等総合支援センターについて

脳卒中や心臓病に関する情報提供や診療支援、相談支援などを、多職種連携や多施設連携を行いながら総合的に支援する組織です。

宮崎大学医学部附属病院内

ホームページをご参照下さい

URL: www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/mscvsc



41

42

図 1

脳卒中手帳より抜粋

脳卒中手帳配布について

当センター事業の一環として、「宮崎県 脳卒中手帳」を作成いたしました。宮崎大学医学部附属病院内の脳卒中多職種連携チームが主体となり、脳卒中の症状や治療法、リハビリテーション、再発予防の薬剤治療、食事栄養管理、脳卒中の地域連携体制など、患者さんやご家族のみならず、一般市民や脳卒中専門外の医療従事者の方々の日々の生活、診療に役立ててい

ただける内容となっております。一人でも多くの方々が脳卒中に対する理解を深めていただけるよう県内の医療機関や行政機関に脳卒中手帳を配布させていただきたいと考えておりますので、ぜひともご協力をお願い申し上げます。手帳の配布をご希望の際は、郵送させていただきますので、恐れ入りますが、下記までお知らせください。

宮崎県脳卒中・心臓病等総合支援センター

〒889-1692

宮崎県宮崎市清武町木原5200

宮崎大学医学部附属病院内

TEL : 0985-85-1909

e-mail : miyazakiscvsc1@med.miyazaki-u.ac.jp

宮崎県 脳卒中手帳
脳卒中患者さんの支援のために



宮崎県脳卒中・心臓病等総合支援センター

図 2 脳卒中手帳表紙

文責：田村 充，大田 元，沖田典子
宮崎県脳卒中・心臓病等総合支援センター 脳卒中部門

宮大医学部学生のパージ



令和7年度新歓委員会からのご報告

宮崎大学医学部 医学科4年 ^{あ は ごん}阿波根 ^{なお}直 ^と杜

今年度は医学科100名、看護学科62名の新生が入学しました。多くの新生が4月5日の新歓オリエンテーション、4月9日のオレンジパーク、4月13日の新歓BBQに参加し、幹部を中心とした在學生で新生を歓迎することができました。簡略ではありますが、今年度の新歓で実施した上記のイベントについて報告させていただきます。

新生にとって最初のイベントである新歓オリエンテーションを行いました。講義棟の303教室を利用して、合わせて500人ほどの新生と在學生が集まりました。まず部活動紹介を行いました。30を超える部活動が事前にチラシやムービーを準備し、新生に各部活の雰囲気、活動内容や新歓スケジュールをアピールする場となりました。ラグビー部による寸劇、アカペラサークルによる生演奏など、多種多様な部活動のアピールがありました。リサイクル企画では、昨年度の卒業生から譲り受けた家具を50点ほど用意し、新生が気に入った家具を実際に見て、抽選によって当選者を決めるという形をとりました。座談会企画では、大学の食堂で、机や椅子をお借りして、新生と在學生で10人のグループを作って円になり、お弁当を食べな

がら交流しました。新生ならではの悩みや日常生活についてなど、多岐にわたってさまざまな話をすることができました。在學生と新生とのつながりができる有意義な交流であったと思われます。新歓オリエンテーションの最後には新生自己紹介企画を行いました。新生に前に出てきてもらい、名前、出身地、出身校、中高の部活、気になっている部活、といった質問に答えてもらいました。例年、この企画前に新生が帰ってしまうことが多くあったのですが、今年はみんな残って自己紹介をしてくれました。みんな緊張した面持ちでしたが、在學生の盛り上げもあり、元気に話してくれました。幹部の支えもあり、オリエンテーション全体として大きなアクシデントもなく、円滑に実施することができたと思います。こうして無事に終えることができたのは、しっかりと引き継ぎしてくださった昨年度の新歓長のおかげだと感じます。また、来年度の新歓も幹部学年の雰囲気に沿ったものにしてくれることと思います。

次にオレンジパークについて報告させていただきます。このイベントはホテル清武で行われ、梅田学園さんと幹部学年に当たる看護学科2年生が協力して、看護学科の新生を歓迎す

るものです。豪華なバイキング形式の食事を取りながら、テーブルごとで会話が弾んでいました。最後には豪華景品をかけて早飲み対決やビンゴ大会を実施し、後ろで見守っている私たちも楽しい雰囲気を感じました。豪華なバイキングや景品を用意してくださった梅田学園さんに変感謝申し上げます。

最後に新歓BBQについて報告させていただきます。昨年度と同様に宮崎ドライビングスクールさんに協賛していただき実施することができました。天気に恵まれ、青空の下で在学生がお肉を焼いたり、カレーを作ったりし、新入生とそれらを食べながら交流しました。食事後は豪華景品をかけたミニゲームを行い、新入生の楽

しそうな表情が見られました。お肉、カレー、景品はすべて宮崎ドライビングスクールさんに用意していただき、大変盛り上がりました。宮崎ドライビングスクールさんに変感謝申し上げます。

今年度の新歓期間は、新歓オリエンテーションが行われた4月5日から4月25日までの約3週間となりました。先輩からのアドバイスや同期の支えのおかげで無事に終了することができました。今後のイベントも幹部中心となって邁進いたしますので、温かい目で見ていただければ幸いです。

以上、拙い文章となりましたが、新歓委員からの報告とさせていただきます。



新歓BBQの様子



今年度幹部の写真

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
5月2日	・医療機関へ通院中の方に対する特定健康診査の受診勧奨について（依頼） ・妊婦健康診査の公費負担の状況にかかる調査結果について ・『第24回IPPNW世界大会in長崎大会』のご案内 ・介護サービス事業者経営情報データベースシステムの運用の一時停止について ・「ケアプランデータ連携システムフリーパスキャンペーンオンライン説明会実施レポートの公開」について（情報提供） ・ポリオウイルスの取扱いに関する指針及びポリオウイルスに対する緊急時対応計画の策定について（周知） ・公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて ・「病原微生物検出情報」の送付について ・ゴールデンウィークの海外渡航者に対する感染症予防啓発について
5月9日	・令和6年度診療報酬改定において経過措置を設けた施設基準の取扱いについて ・疑義解釈資料の送付について（その24） ・令和7年度におけるデータ提出加算（A245）及び外来データ提出加算等の取扱いについて ・社会医療法人、特定医療法人及び認定医療法人が満たすべき収入要件の見直し等について ・オープン病院事業法人（開放型病院等を開設する一般社団法人の医師会）及び福祉病院事業法人（無料低額診療を行う一般社団・財団法人）が行う医療保健業に係る法人税非課税措置における収入要件の見直しについて ・オンライン資格確認（資格確認限定型）のマイナ資格確認アプリにおける機能追加について（周知） ・「医療情報システム開発センター（MEDIS）が提供するリモート署名サービスの有料化に対する日本医師会の対応について」の補足 ・医療の質向上のための体制整備事業への協力について（医療の質可視化プロジェクト） ・医療事故情報収集等事業事例報告新システム稼働の御案内について（周知依頼） ・療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める掲示事項等の一部改正等について ・「第14回2025年度在宅を支える多職種交流会」案内の配布依頼について ・令和7年度職場の「健康経営」応援事業の実施について（依頼）

送付日	文 書 名
5月13日	・新興感染症に対する医療提供体制調整業務への補助について ・令和7年度全国安全週間の実施に伴う協力依頼について ・認知症施策推進計画の策定促進について（情報提供） ・「介護人材確保・職場環境等改善事業に関するQ&A（第2版）」の送付について ・「指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準（訪問通所サービス，居宅療養管理指導及び福祉用具貸与に係る部分）及び指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準の制定に伴う実施上の留意事項について」の一部改正について ・ケアプランデータ連携システム5月16日（金）「まもなく受付開始！キャンペーン直前導入セミナー」開催のご案内（情報提供） ・新たに薬事審議会において公知申請に関する事前評価を受けた医薬品の適応外使用について ・レプリキズマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎）の一部改正について（通知） ・ゾフルーザ錠20mgの使用期限の取扱いについて ・日本学校保健会が主催する研修会の開催要項の送付について（依頼）
5月16日	・紙カルテ利用の診療所の電子化対応可能性に関する調査へのご協力をお願い（期間延長の再周知） ・オンライン資格確認の導入のための医療機関・薬局への財政支援について（周知依頼） ・MCDBによる医療法人の経営情報の電子的報告について（周知依頼） ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・独立行政法人福祉医療機構による物価高騰の影響を受けた医療施設等に対する優遇融資に係るQ&Aについて
5月20日	・令和7年度医療施設等経営強化緊急支援事業（生産性向上・職場環境整備等支援事業）の内示等及びQ&A（第3版）について ・保険医療機関における書面揭示事項のウェブサイトへの掲載について ・物資の流通の効率化に関する法律に基づく努力義務規定等の施行について ・医療法第5条の2に基づく医師少数区域等で勤務した医師を認定する制度の周知について（依頼） ・「一般用SARSコロナウイルス抗原・インフルエンザウイルス抗原キットに係る一般用検査薬の製造販売承認申請の取扱いについて」の一部改正について ・「一般用新型コロナウイルス抗原定性検査キットに係る製造販売承認申請の取扱いについて」の一部改正について

送付日	文 書 名
5月23日	・「原則として医行為ではない行為」に関するガイドラインについて ・令和6年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（令和6年度調査）の結果について（最終版・情報提供） ・各地域における1か月児・5歳児健診推進への協力について ・保険医療機関又は保険薬局の指定拒否並びに保険医又は保険薬剤師の登録拒否について ・疑義解釈資料の送付について（その25） ・疑義解釈資料の送付について（その26） ・「使用上の注意」の改訂について ・無痛分娩に関する取組の再周知について（情報提供） ・令和7年度宮崎県保健指導実施者初任者研修会の開催について（通知） ・医療事故情報収集等事業事例報告新システム稼働の御案内について ・アシミニブ塩酸塩製剤の使用に当たっての留意事項について ・ベランタマブマホドチン（遺伝子組換え）製剤の使用にあたっての留意事項について ・「じん肺健康診断及びじん肺管理区分の決定におけるDR（FPD）写真及びCR写真の取扱い等について」の一部改正について
5月28日	・医療費助成の受給者証及び診察券のマイナンバーカードへの一体化に関する補助金の令和7年度の申請受付の開始について ・顔認証付きカードリーダーの故障時等におけるマイナ資格確認アプリの利用開始について（周知） ・新型コロナウイルス感染症患者等の公費支援等に係る取扱いについて（通知） ・百日せきの流行状況等を踏まえた、定期的予防接種の実施及び沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチンの安定供給に係る対応について ・黄熱予防接種巡回診療の開始について
5月30日	・戸籍等の記載事項に氏名の振り仮名を追加することに伴う影響への対応について（情報提供） ・新型コロナウイルス感染症患者等の公費支援等に係る取扱いについて ・熱中症予防の普及啓発・注意喚起について ・令和7年度版「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策チェックリスト」及び「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策チェックリストマニュアル～医療機関・事業者向け～」について ・がん検診実施機関の登録及び精密検査機関の登録について（依頼） ・セマグルチド（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（肥満症）の一部改正について

医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1

登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2

専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3

日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい...

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介します。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真、その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介、読みどころ、執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真、書物の表紙写真

■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」、新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する、カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■ 掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■ 原稿の趣旨を変えない範囲で、日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただきます場合があります。

■ 日州医事は、各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■ すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には、修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ、法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など、他の団体、個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など、特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し、法律で禁止されている行為など、その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認、難解、過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

あとかき



同じものを観ても、その人が置かれている状況で感じが違います。5月に入って野球と映画を観てきました。今回はそれらから私を感じ取ったメッセージを記させていただきます。

MRT招待野球を観に行きました。招待校の野球は打てなくても点を取り、投手力と鍛えあげられた守備で守り抜く野球でした。クリニックも守備が大切と感じまし

た。守備は練習すれば必ずうまくなります。上手な先輩が後輩に教える環境が重要で、チームで反省すればミスが減り、カバーができます。優しいチームにしていけます。

また、昨日、宮崎出身の漫画家東村アキコさん原作の映画「かくかくしかじか」を観てきました。原作者と恩師との関わり合いの話でした。妻はこれまで関わってきた自分の恩師のことが思い返されて感動したと言っていました。私は、人は死ぬんだなあ、いつか別れが来るのだなあと感じました。今の元気な時間は永遠ではない、いつか、20年後、10年後、いや数年後、動けなくなるかもしれない。今、全力で診療ができていて、その環境を作ってくれているスタッフ、家族、周囲の方々に感謝したいです。明日が来るのは当たり前なのですが、そうではないのです。今のこの時を楽しんで、これからも楽しいことをやっていきたいと思っています。

8月は大好きだった南野陽子に行ってきます。11月の矢沢永吉東京ドームは抽選待ちです。(石田)

始業前や休憩時間にコーヒーを飲んで一息つのが習慣です。リラックスしたり気分を高めたりと仕事のお供に愛飲していますが、コーヒー2050年問題があり、気候変動の影響で収穫量が大幅に減り、コーヒー不足に陥ると指摘されています。お茶も好きですが、淹れる音や香りも魅力的なコーヒーに替わるものはなかなか見つかりません。新たな産地の開拓や生産者の収入確保などの取組みが功を奏するように。(横山)

大相撲夏場所は大関大の里が14勝1敗で2場所連続通算4回目の優勝で幕を閉じました。大関での連続優勝で横綱昇進を確実にしました。同郷の第54代横綱輪島を超えて初土俵から所用14場所のスピード出世で横綱を手に入れます。今場所は綱取り場所と言われていましたが、圧倒的な強さで13日目には優勝を決めました。千秋楽は全勝優勝がかかりましたが、横綱豊昇龍の前に初黒星を喫しました。新横綱となる名古屋場所が楽しみです。大の里は石川県の出身であり、被災地の能登の人々にとっても心の支えとなるでしょう。(高橋)

初めまして、6月号から学生委員を務めさせていただきます宮崎大学医学部医学科4年の野間貫太と申します。出身は宮崎市内で、趣味は筋トレときれいな景色を見に行くことです。最近中学時代の友人が結婚したようで、自分もそのような年齢になってしまったのかと時間の経つ速さに驚いています。小さいころは20歳を過ぎると自然に大人になっていくように思っていたのですが、実際は全くそんなことはなく、周囲の人たちの進む速さとのギャップを感じます。季節もすっかり夏らしくなってきました。早く過ぎてしまう時間を大切に過ごしていきたいと思います。(野間)

昨年度に引き続き、学生委員を務めさせていただきます宮崎大学医学部医学科5年の家村和奈です。本年度もよろしくお願いいたします。先日、嵐の活動終了が発表されました。私は小学2年生から嵐のファンです。今後5人での活動が見られなくなることは寂しいですが、それ以上に、これまでたくさん楽しませてもらったことへの感謝の気持ちや、それぞれの今後の道を応援したいという思いの方が強くあります。国立競技場でのコンサートに一度は行ってみたかったので、最後に行けたら嬉しいです。(家村)

大分県立美術館で開催されていたジミー大西さんの展覧会『ホームタウン』を訪れました。絵や添えられたコメントには、彼の温かい人柄が溢れていました。初期の作品には無数の“目”が描かれており、芸能界という衆人環視の中で生きる苦しさや滲んでいましたが、心境とともに少しずつ変化していく絵も大変興味深いものでした。たまたまジミーさんが在廊しており、握手までしてもらいましたが、その手はおにぶとした、優しい掌でした。(永野)

ドライバーの飛距離低下は筋力の衰退に起因すると考え、腹筋・背筋の再鍛錬が必要との結論に至りました。ストイックなトレーニングは嫌だなと思案していたところ、“ながら筋トレ、巻くだけで体幹を鍛える”という広告が目に残りました。そうです、あのPowersuitです。少々高価格でしたが、結婚記念日プレゼントとして購入してもらい、毎朝コーヒーを飲みながら40分ほどブルブルブルと励んでいます。2か月ほど経ち、ズボンベルトの穴が1つ広がりました。果たして腹筋群の盛り上がりか、はたまた内臓脂肪の蓄積なのか？碧空に向かって飛んでいくボールが答えを教えてくれるはずです。(田畑)

今月のトピックス

会長のページ 幸福度

幸福度についてのお話です。何に重きを置くのか、先生方のお考えはいかがでしょうか。 3 ページ

随 筆

山口和正先生による「贅沢な時間」では『ALWAYS 三丁目の夕日』のような懐かしい思い出のお話です。谷口二郎先生や石橋俊秀先生には毎度新しいことを教えていただいております。 6 ページ

メディアの目 移住者の課題は雇用、教育

移住者の課題についてのお話です。2023年度、都城市の移住者数は「3,710人」に達し、13年ぶりに人口増へ転じたことは記憶に新しいところですが、その後の雇用や教育の問題が解決しないことには維持できなくなるでしょうから、我が県にとっては重要な提言です。 16 ページ

お知らせ 第22回宮崎大学医学部音楽祭

医学部学生のイベントについても積極的にお知らせしてまいります。 19 ページ

診療メモ 骨粗鬆症

船元太郎先生による骨粗鬆症についての解説です。自分もそろそろ骨密度の測定が必要かなと。ビタミンDとカルシウムの補充を考えます。 60 ページ

(文責：菊池 英維)

日 州 医 事 第910号 (令和7年6月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
http://www.miyazaki.med.or.jp/ E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 菊池 英維

副 委 員 長 石田 康行

委 員 横山 晃子, 下窪 徹, 高橋 聡,
國枝 良行, 永野 元章, 高村 一紘

学 生 委 員 家村 和奈, 宮本貴由樹, 野間 貫太, 安丸 佳苗

担当副会長 金丸 吉昌

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究, 田畑 直人

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 久永 夏樹

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)